

保証書（持込修理）

本書は、本書記載内容（右記載）で、無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 RSR30sd		S/No.	
お 買 い 上 げ 年 月 日		年 月 日	
保 証 期 間		対象部分 機器本体（消耗部品は除く） お買い上げの日から1年	
お 客 様	お 名 前	様	
	ご住所	〒	
販 売 店	店 名・住 所	TEL（ ）	
	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。		
故障内容記入欄			

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
(イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障および損傷
(ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
(ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
(ヘ) 本書のご提示がない場合
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
(チ) 同梱品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※本書を紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。



1ボディタイプ
GPSアンテナ内蔵レーダー探知機

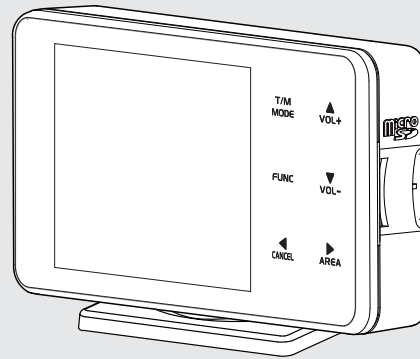
RSR30sd

取扱説明書

12V車専用 ダウンロード対応

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は、スピード取締り機が存在を前もってお知らせする受信機です。



- レーダー波を発射しない取締り（光電管式、追尾方式など）やステルス型取締りの場合、事前に探知できませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけてください。

目 次

はじめに

安全上のご注意	2
使用上のご注意	6
各部の名称とはたらき	8
取り付けかた	11
microSDカードの出し入れ	13
基本的な使いかた	14
表示内容	16
3Dゾーンマップレーダースコープについて	22
エコドライブモニターについて	24
バーチャルオドメーターについて	25

使いかた

レーダー編	
レーダー波受信時の動作について（レーダーアラーム）	27
レーダー波3識別（iDSP）について	28

GPS編	
GPS測位機能について	29
GPS52識別について	30
警告させたい地点を登録する（マイエリア登録）	35
レーダー警報をキャンセルしたい地点を登録する	36

無線編	
5バンド受信機能について	37

設定編	
各種設定のしかた	39
システム設定	40
レーダーの設定	45
GPSの設定	49
無線の設定	57

ity.

ity. MAPサービス	59
今すぐ地図表示サービス	59
地図閲覧サービス	59
ログ機能	60
GPSターゲットデータ更新サービス	61

その他

取締りのミニ知識	62
取締りレーダー波を受信しにくい場合	63
故障かな？と思ったら	64
仕様	66
アフターサービスについて	67
保証書	裏表紙

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

⊘ この記号は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

➡ この記号は、関連するページを示します。

● 安全上お守りいただきたいこと

⚠警告

- ❗ 異物が入ったり、水に浸かったり、煙が出ている、変な臭いがする等、異常な状態のまま使用しないでください。発火の恐れがありますので、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。
- ❗ 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。
- ⊘ サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および同梱品を分解したり、修理しないでください。感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。
- ⊘ 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。
- ⊘ 破裂、発火や火傷の原因となりますので、本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れないでください。また、本機を加熱したりしないでください。
- ⊘ 本機を次のような場所に保管しないでください。変色したり、変形したり、故障の原因となります。
 - ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
 - ・ 湿気やほこり、油煙の多い所
 - ・ ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

● 電源コードについて

⚠警告

- ❗ 電源コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。
- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。
- ❗ お手入れの際は、シガープラグコードを抜いてください。感電の原因となります。
- ❗ シガーライターソケットは単独で使ってください。タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。
- ❗ シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。接触不良を起こして火災の原因となります。
- ⊘ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
- ⊘ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。

⚠警告

- ❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。
- ⊘ エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

⚠警告

- ❗ 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。
- ⊘ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

⚠警告

- ❗ マジックテープ貼り付け位置は、汚れ・ホコリを十分に落してください。マジックテープの粘着力を弱め、本機が脱落する恐れがあります。

⚠注意

- ❌ 気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使い続けしないでください。
- ❌ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- ❌ 落としたり、強いショックを与えない。破損、故障の原因となります。
- ❌ 各端子に異物が入ると、故障の原因となることがありますので取り扱いにご注意ください。
- ❌ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。
- ❌ 濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。
- ⚠ 本機は精密機械です。静電気/電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

⚠注意

- ❗ OBD II アダプターを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。電源ケーブルに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ず OBD II アダプターの本体部分を持って抜いてください。
- ❌ お手入れの際は、OBD II アダプターを抜いてください。感電の原因となります。

⚠注意

- ❗ 車から離れるときは、電源を切ってください。使用しないときは電源を切ってください。

使用上のご注意

はじめに

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけてください。
- 電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)の場合、電波が受信しにくくなり、GPS測位機能(●29ページ)が、はたらかない場合や、取締レーダー波の探知距離が短くなる場合があります。

表示部

- ・表示部を強く押したり、衝撃を与えないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。

取り付け(●11ページ)に関する注意

- ・GPS衛星からの電波やレーダー波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
- ・他の機器のアンテナの近くや、金属など障害物の陰にならない場所に取り付けてください。
- ・水がかかったり、熱風が当たる場所には取り付けしないでください。
- ・本機あるいは電源コードが、ドアの開閉部などにあたったり、はさまれないようにしてください。
- ・本機を道路に対して水平に、また進行方向に取り付けていないと、Gセンサーが正しく動作しないことがあります。

シガープラグコードに関する注意

- ・シガープラグコードは、必ず同梱のものをご使用ください。
- ・シガープラグコード内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズが切れた場合は、

部品の紛失に注意し、市販の新しいヒューズ(1A)と交換してください。
なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグコードを抜いて、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご相談ください。(●67ページ)

レーダーアラーム(●27ページ)に関する注意

- ・走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。
- ・狙い撃ちの取締り機(ステルス型取締り機)は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間にあわない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。(●28ページ)
- ・レーダー波を使用しない速度取締り(光電管式など)の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。(●62ページ)

GPS測位機能(●29ページ)に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- ・車載TVをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。UHF56チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。
- ・新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS警報できませんのであらかじめご了承ください。
- ・GPS警報の左右方向識別ボイス(●34ページ)は、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

無線2バンド受信機能(●37ページ)に関する注意

- ・カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。

- ・カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。
現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベスポートナー2識別(●38ページ)は、はたらかません。

画面表示に関する注意

- ・表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。
- ・アイコン表示(●16ページ)はGPS測位状況や各種設定状況により異なります。
- ・GPS測位が完了するまでは、「測位情報」を表示し、GPS測位すると設定した待受画面を表示します。
- ・日付および時刻は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- ・時刻の表示は、24時間表示です。12時間表示に変更することはできません。
- ・走行速度やGPSターゲットまでの距離、自転車アイコンは、GPSやGセンサー、バーチャルポジショニングシステムにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- ・車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- ・渋滞や低速走行時(発進直後を含む)は、速度表示を正しく表示しないことがあります。
- ・画面に表示される地図のデータ更新はできません。
- ・画面右下の時計表示は、GPS測位中と電源ON直後の測位完了までの間、白色で表示します。一度測位したあと、トンネルなどで測位できない状況になると赤色表示に変わり、再度測位すると白色表示に戻ります。(●16ページ)

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・説明書に記載の使用法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品の取り付けによるダッシュボードの変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

別売品のOBD II アダプター(●10ページ)で接続した場合

- ・取り付ける車両によっては表示できない待受画面の項目があります。(●17ページ)
- ・イグニッションをOFFにしてから本機の電源がOFFするまで、数秒から数十秒かかります。本機の電源をただちにOFFしたい場合は、本機背面の電源スイッチで電源をOFFすることができます。(●8ページ)
- ・車検、点検等の後は、故障診断装置接続の為 本機のOBD II アダプターが抜けている場合があります。その際は再度OBD II コネクターへ本機のOBD II アダプターを挿し込んでください。

microSDカード(●13ページ)に関する注意

- ・同梱のmicroSDカードは、本機専用でご使用ください。
- ・microSDカードの出し入れは、本機の電源をOFFにした状態で行ってください。
- ・microSDカードは一方にしか入りません。無理に押し込むと、本機やmicroSDカードが壊れることがあります。

はじめに

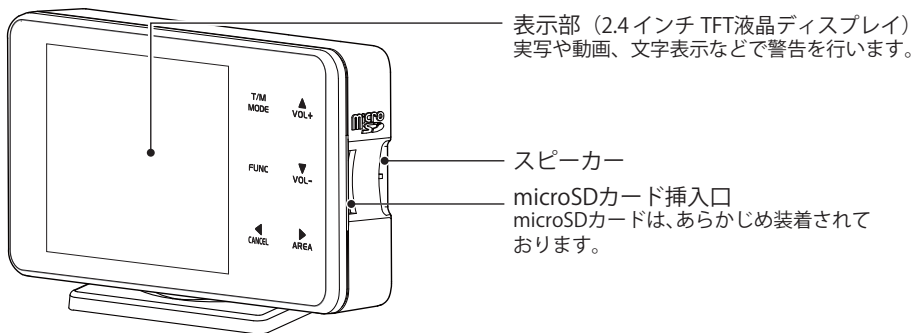
各部の名称とはたらき

つづく

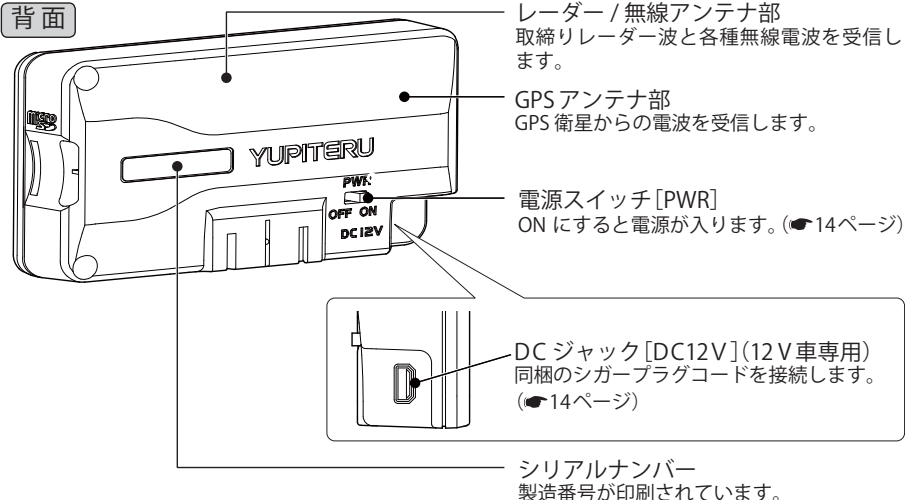
はじめに

本機

正面



背面



●ターゲット 59識別

- ・GPS52識別
- ・無線2/バンド識別
- ・レーダー波3識別
- ・ベストパートナー2識別

●超高感度GPS受信機能「GPS-EX」

- ・弱信号捕捉技術により、感度が大幅に向上した超高感度GPSモジュールを採用。今まで警報しなかった高架下などの弱信号環境でも途切れにくい動作を可能にし、警報できるようになりました。

●Gセンサー

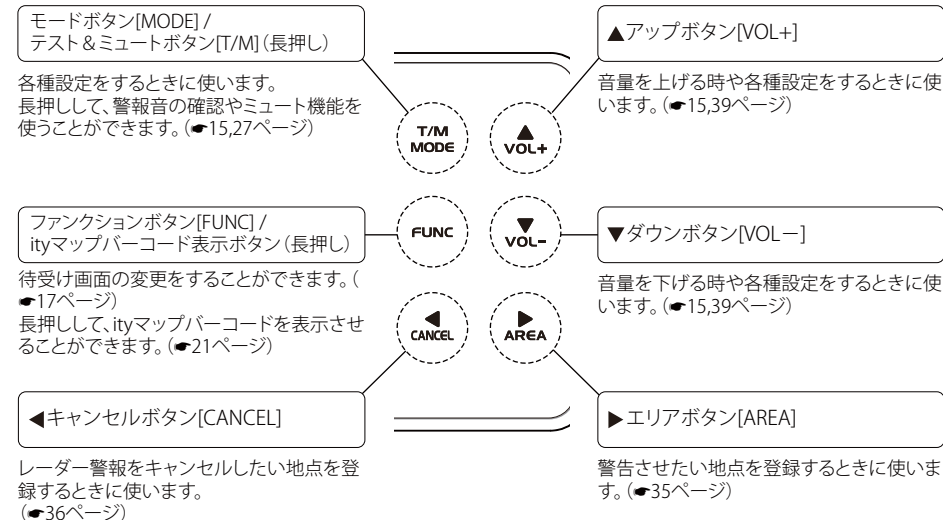
●VPS (バーチャルポジショニングシステム)

- ・高精度な警報が可能
- ・加速度の待受画面

●オービスロケーションガイド

- ・オービスの手前500mで目標物(交差点・バス停・陸橋・高速のキロポスト)と、オービスの種類などのアナウンスをより安全でわかりやすく行います。

操作部



同梱品

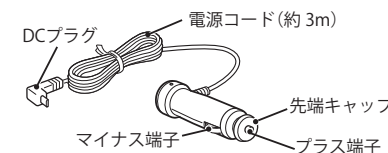
ご使用前に同梱品をお確かめください。

●ダッシュボード取付け用ブラケット



●シガープラグコード (L型ミニプラグDC12V出力)

※ 別売品の電源直結コード (OP-6U) や OBD II アダプター (OBD12-RD) をご使用の場合は、使用できません。



●粘着マット

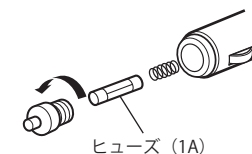
●マジックテープ

●直付け用両面テープ

●microSDカード (1GB) (本機専用)

※本機にあらかじめ装着されています。

●取扱説明書・保証書 (本書)



※ 紛失等による同梱品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

はじめに

各部の名称とはたらき

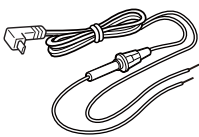
別売品のお知らせ

■電源直結コード(L型ミニプラグDC12V出力) OP-6U (約3m)

1,575円(税込)

シガーライターソケットを使わずに、車内アクセサリ系端子から直接電源をとることができます。

※別売品のOBD IIアダプター (OBD12-RD)をご使用の場合は、使用できません。

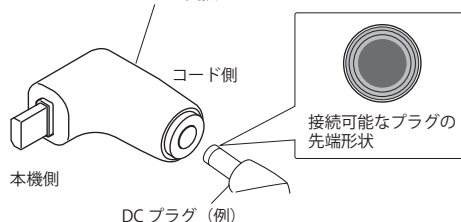


■DCプラグ⇒ミニプラグ 変換コネクタ OP-8U

840円(税込)

弊社レーダー探知機からのお買い換えなどの場合に、いままでのシガープラグコードや電源直結コードを継続して使用していただけるように、本機接続側のDCプラグをミニプラグに変換するコネクタです。接続するコードのプラグ先端形状が図のタイプ以外のコードは使用できませんので、その場合は同梱のシガープラグコードもしくは別売品の電源直結コード (OP-6U) をご使用ください。

DCプラグ⇒ミニプラグ変換コネクタ OP-8U



■OBD II アダプター OBD12-RD (約3m)

5,980円(税込)

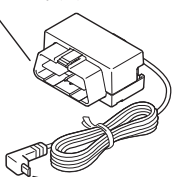
本機を車両側のOBD IIコネクタと接続し、車両に関する情報を表示します。(●17ページ)

※車種により、表示できない情報があります。適応車種は、販売店もしくは弊社ホームページの適応表をご覧ください。

※OBD IIアダプターを使用した場合、シガープラグコード(同梱)および電源直結コードOP-6U(別売品)、DCプラグ⇒ミニプラグ 変換コネクタ (OP-8U)(別売品)は使用できません。

※OBD IIアダプターを使用した場合、イグニッションをOFFにしてから本機の電源がOFFになるまで、数秒から数十秒かかります。本機の電源をただちにOFFにしたい場合は、本機背面の電源スイッチで電源をOFFにすることができます。(●8ページ)

車両側OBD IIコネクタへ



本機側DCジャックへ

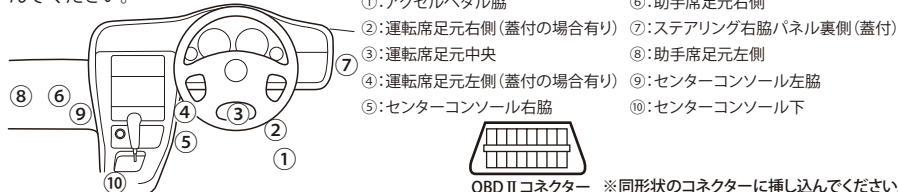
OBD IIとは？

On-board diagnostics II

制御コンピューターに接続し、車両情報を本機の待受画面などに表示することができます。(●17ページ)

OBD II アダプターの取り付け

車両によってOBD IIコネクタの位置が変わりますので、下記の10か所を確認し、OBD IIアダプターを挿し込んでください。



OBD IIコネクタ ※同形状のコネクタに挿し込んでください。

取り付けかた



GPS衛星からの電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。

つづく

本機は、自由自在な角度調整が行えるボールジョイント方式のブラケットを採用しています。[特許出願中]

また、国土交通省の保安基準改正によるフロントガラスの取り付け規制に伴い、新素材の粘着マットを採用し、ダッシュボードへの取り付けをスマートにしました。

粘着マットについて

強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できます。

※粘着マットで安定した取り付けができない場合は、同梱のマジックテープを使用するか、市販の強力型両面テープ(厚さ2mm以上)を使用し、取り付けてください。

※取り付けにより、ダッシュボードに跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

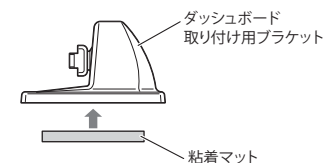
粘着マットの上手な使いかた

- 貼る場所の表面に、ホコリや汚れがないことを確認してください。
- 貼り付ける側の保護シートをはがし、しっかり貼り付けてください。
- できるだけ水平に近い平坦な場所に取り付けてください。
- ホコリや汚れなどで粘着力が弱くなった場合は、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元します。

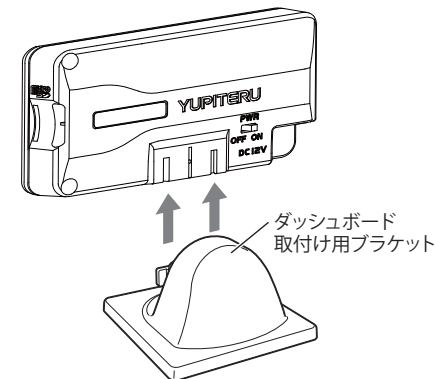
車両のダッシュボードへの取り付け

ダッシュボード取付け用ブラケットを使用して取り付ける

1 ダッシュボード取付け用ブラケットに粘着マットを貼り付ける



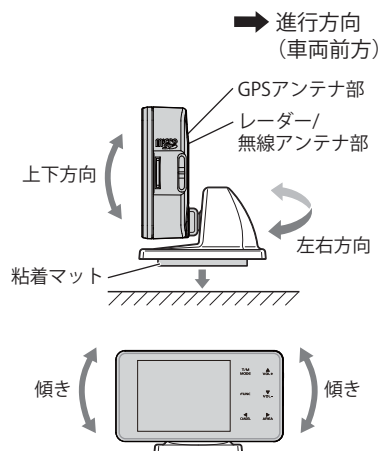
2 本機をダッシュボード取付け用ブラケットに取り付ける





車両のダッシュボードへの取り付け

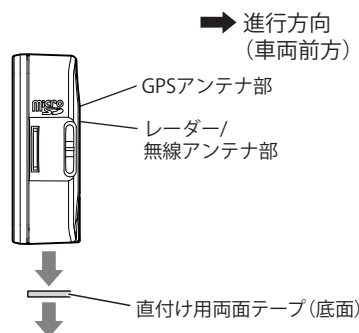
3 本機を道路に対して水平に、またレーダー/無線アンテナ部が進行方向(車両前方)を向くように角度を調整し、ダッシュボードに取り付ける



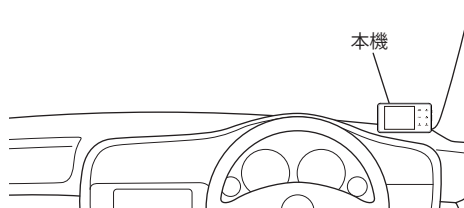
- ダッシュボードから外す場合は、ダッシュボード取付け用ブラケットの下部を持って、ゆっくりと行ってください。本機やダッシュボード取付け用ブラケット上部を持つと、破損の原因となります。
- GPSの電波が受信しやすい場所で、レーダー/無線アンテナ部が進行方向(車両前方)を向くように取り付けてください。
- 本機を道路に対して水平に取り付けてください。Gセンサーが正しく動作しないことがあります。

両面テープを使用して取り付ける

同梱の直付け用両面テープで、本機を貼り付ける



下記のイラストを参考に、本機が見やすい場所に貼り付けてください。



- GPSの電波が受信しやすい場所で、レーダー/無線アンテナ部が進行方向(車両前方)を向くように取り付けてください。
- 本機を道路に対して水平に取り付けてください。Gセンサーが正しく動作しないことがあります。
- 両面テープは、貼る場所のチリや汚れ、脂分をよく落としたあと、慎重に貼ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱めます。

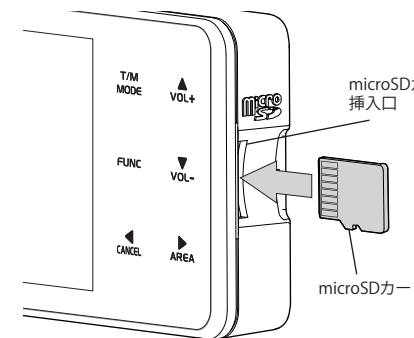
microSDカードの出し入れ

△ 注意

- microSDカードの出し入れは、必ず電源がOFFの状態で行ってください。
- microSDカードは一方方向にしか入りません。microSDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本機やmicroSDカードが壊れることがあります。

GPSデータ更新などでmicroSDカードを取り出すときは、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。

同梱のmicroSDカードを装着する際は、右図の向きに合わせ、『カチッ』と音がするまでmicroSDカード挿入口に押し込んでください。



microSDカードの取り扱いについて

同梱のmicroSDカードには、実写警報「REALPHOTO(リアルフォト)」(●21ページ)や「3Dゾーンマップレーダースコープ」(●22ページ)を表示させるためのデータ、音声データが保存されています。

重要

- 本機にmicroSDカードが挿入されていないと、実写警報「REALPHOTO(リアルフォト)」や「3Dゾーンマップレーダースコープ」の表示はされません。また、操作音や音声警告もされません。
- microSDカードをパソコン等でフォーマットしないでください。
- microSDカードは本機専用でお使いください。他の機器には使用しないでください。

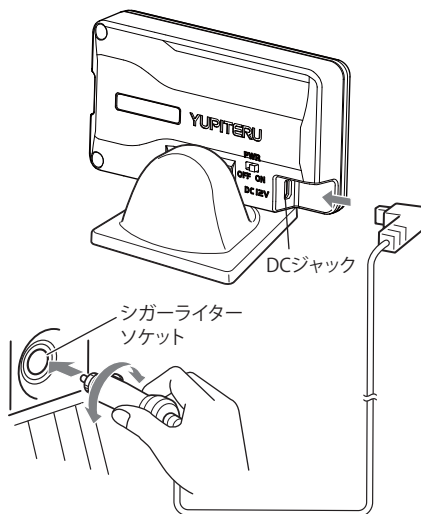
誤ってデータを削除した場合は、有償での対応となります。お買い上げの販売店、または弊社相談窓口(0120-998-036)にご相談ください。

基本的な使いかた

はじめに

1 同梱のシガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

シガープラグは、2～3回左右にひねりながら差し込みます。



- ・シガープラグコードは、必ず同梱のものをご使用ください。
- ・シガープラグコードのヒューズが切れた場合は、先端キャップ(●9ページ)をゆるめて市販の新しいヒューズ(1A)と交換してください。
- ・一部の車種においては、シガープラグコードの形状が合わないことがあります。その場合は、別売品の電源直結コード(OP-6U)またはOBD II アダプター(OBD12-RD)(●10ページ)を使用してください。

警告

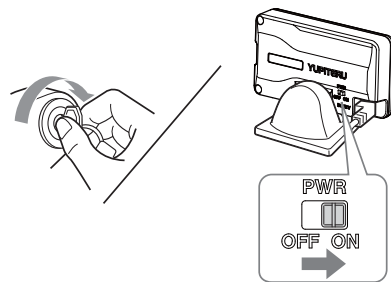


本機のDCジャックはUSB端子ではありません。故障の原因となりますので、本機をパソコンなど他の機器のUSB端子と接続しないでください。

2 電源を入れる

車のエンジンを始動し、電源スイッチを「ON」にします。

オープニング表示します。



電源が入ると、「GPS測位機能」(●29ページ)がはたらき、GPSの電波を受信すると、『測位しました』とお知らせします。

3 音量を調節する

▲アップ/▼ダウンボタンで調節できます。『ピッ』という確認音を聞きながら調節します。

最大音量からさらに▲を押しと『ブブッ』と鳴ります。



[マナーモード表示]

音量「0」からさらに▼を押すと「マナーモード」になります。解除するときは▲を押します。

マナーモードについて

音量調整時、音量「0」の状態からさらに▼を押すと「マナーモード」になり、約2秒後に、表示が消えます。GPSターゲットやレーダー波などの各種警報(音や表示)も行われません。

- ・マナーモードは、▲を押すと解除できます。

フレックスディマー

夜間は、画面表示の明るさを抑え、眩しさを防ぎます。

GPSの時刻情報により、それぞれの地域および季節に応じて自動的に画面表示の明るさを調整します。

4 出発できます

本機の機能をカスタマイズできます。「各種設定のしかた」(●39ページ)をご覧ください。

ネズミ捕りエリアに入ると…



『ネズミ捕りエリアです
スピード注意』

車上狙い多発エリアに入ると…



『車上狙い多発エリア
です』

ステルス波を受信すると…



『ステルスです
ステルスです』

テストモード

各種警報音やボイスを確認することができます。

1 T/M MODE ボタンを長押し(1秒間)します。
テストモードに入ります。

2 CANCEL AREA ボタンを押すたびに確認する警報音やボイスを変更できます。

3 T/M MODE ボタンを押すと、テストモードが終了します。

はじめに

アイコン表示について

画面下部にレーダー受信感度などのアイコンを表示します。



表示名	アイコン	表示の意味
① OBD II 接続表示		本機に OBD II アダプター(●10ページ)を使用している場合に表示されます。
② GPSサーチ中表示		電源を ON 後に GPS 測位するまでの間や、測位した後一定の間 GPS 電波を受信できなくなった場合に点滅表示します。(●29ページ)
③ GPS 測位表示		GPS 電波の受信ができていないことを表しています。
		GPS 電波の受信ができていないことを表しています。
④ 方位磁針表示		GPS 測位後に表示し、走行すると赤色の針が北方向を指します。(停車状態のままでは針が青色で動きません。)
⑤ レーダー受信感度モード表示		AAC/不要警報カットやレーダー受信感度の状態を表示します。(●46ページ)
⑥ カーロケ近接受信表示		カーロケ無線の近接受信時と圏内判定中に点滅表示します。(●37ページ)、(●38ページ)
⑦ 取締・検問エリア表示		取締エリア、検問エリア内で表示します。(●52ページ)
⑧ 駐車禁止監視エリア表示		駐車禁止監視エリア内で表示します。(●53ページ)
⑨ 車上狙い多発エリア表示		車上狙い多発エリア内で表示します。(●55ページ)
⑩ ミュート表示		ミュート機能が作動中に表示します。(●27ページ)
⑪ 時計表示		現在の時刻を表示します。また、待受画面を「時計」にしている場合は、速度表示になります。(●18ページ)
⑫ ログ機能表示		ログ機能が ON の場合、パーセント表示(0%～100%)します。(●60ページ)

・表示内容は、製品の改良などで、実際と異なることがあります。

メッセージ表示例

待受画面

警報待受時の画面を時計や速度表示などの画面に設定できます。(●41ページ)

名称	説明
時計	時刻をデジタル表示します。(●18ページ)
速度	走行速度を表示します。(●18ページ)
カレンダー	年月日、曜日表示します。(●18ページ)
エコドライブ	エコドライブの評価を採点表示します。(●18ページ)
加速度	車両に加わる加速度の状態を矢印で表示します。(●18ページ)
バーチャルオドメーター	実際の走行距離を日本の全県を巡るコースに置き換え、仮想的に日本のどこを走っているかを楽しむことができます。(●18ページ)
タコメーター	エンジン回転数、スロットル開度、エンジン負荷率を表示します。(●18ページ)
マルチメーター	エンジン回転数、エンジン負荷率、スロットル開度、瞬間燃費を表示します。(●18ページ)
燃料使用量	今回消費燃料と積算消費燃料を数値とイメージで表示します。(●19ページ)
エンジン負荷	エンジン負荷を、エンジンイラストの色の变化で表します。エンジン負荷が大きくなると、エンジンのイラスト色が緑→黄→赤の順に変化します。(●19ページ)
OBDデータ	OBDデータを一覧表示します。(●19ページ)
測位情報	衛星位置、衛星ナンバー、受信レベルを表示します。(●19ページ)

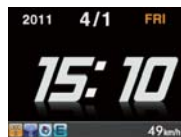
- ・太線で囲われた待受画面は、別売品の OBD II アダプター(●10ページ)で接続した場合に表示する待受画面です。
- ・初期値は、「時計」に設定されています。
- ・日付および時刻は、GPS 測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- ・時刻の表示は、24 時間表示です。
- ・走行速度は GPS の電波に基づき表示しています。別売品の OBD II アダプター(OBD12-RD)で接続した場合は、OBD II 車速検知に基づき表示しています。また、車両の速度計は、数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- ・FUNC ボタンを押すことで、簡単に待受画面を変更することもできます。

タコメーター
マルチメーター
燃料使用量
エンジン負荷
OBDデータ

左の待受画面は別売品の OBD II アダプター(●10ページ)で接続した場合に表示します。車種によって OBD II から読み出される内容の違いにより、下記の現象が現れる場合がありますが、不良ではありません。(車種別の適応については、販売店または弊社ホームページでご確認ください。)

- ・待受画面内の一部の項目が表示されない場合があります。
 - ・「スロットル開度」は、エンジンがアイドリング状態でも表示が 0% にならないことがあります。
 - ・表示する内容は、純正メーターの数値やタイミングと異なる場合があります。
- ※ 待受画面内の表示は、車両の OBD II から読み取った数値を基に表示した目安です。実際の走行状況との誤差が発生する場合があります。

時計



速度



カレンダー

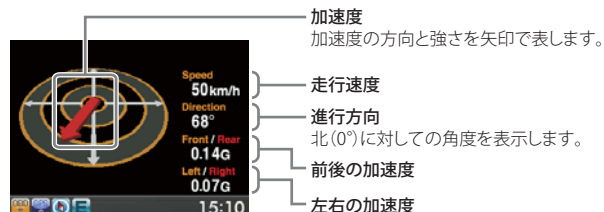


エコドライブ



- 詳しくは、「エコドライブモニターについて」(●24ページ)をご覧ください。

加速度



常に一定方向の加速度を表示している場合には、水平な場所に移動し、電源を入れ直してください。

バーチャルオドメーター



- 詳しくは、「バーチャルオドメーターについて」(●25ページ)をご覧ください。

タコメーター

スロットル開度
燃料と空気の流れを制御する弁の開き具合をパーセントで表します。

エンジン負荷率
エンジンにかかる負荷をパーセントで表します。



タコメーター
エンジン回転数をデジタル/アナログで表示します。

マルチメーター



- エンジン回転数 (現在のエンジン回転数です。)
- エンジン負荷率 (エンジンにかかる負荷をパーセントで表します。)
- スロットル開度 (燃料と空気の流れを制御する弁の開き具合をパーセントで表します。)
- 瞬間燃費 (現在の燃費です。)

燃料使用量



- ◆積算消費燃料 (ドットは1つあたり50Lで、ドットが全部点灯すると10,000Lです。)
- ◆今回消費燃料 (右の器は100ml、タンクは1つあたり5Lで、タンクが全部点灯すると50Lとなります。右の器は本機の電源OFFで0に戻ります。)
- ◆燃料流量 (1分あたりの燃料流量です。)
- ◆瞬間燃費 (現在の燃費です。)
- ◆平均燃費 (「平均クリア」(●43ページ)または「オールクリア」(●44ページ)後の平均燃費です。)

※ お買い上げ直後や「平均クリア」(●43ページ)または「オールクリア」(●44ページ)後の平均燃費は実際と大幅に異なることがありますが、100km程度の走行で実際の燃費に近づきます。

エンジン負荷



- ◆エンジン負荷率 (エンジンにかかる負荷をパーセントで表します。エンジン負荷が大きくなると、エンジンのイラスト色が緑→黄→赤の順に変化します。)
- ◆スロットル開度 (燃料と空気の流れを制御する弁の開き具合をパーセントで表します。)
- ◆燃料流量 (1分あたりの燃料流量です。)
- ◆瞬間燃費 (現在の燃費です。)
- ◆平均燃費 (「平均クリア」(●43ページ)または「オールクリア」(●44ページ)後の平均燃費です。)

※ お買い上げ直後や「平均クリア」(●43ページ)または「オールクリア」(●44ページ)後の平均燃費は実際と大幅に異なることがありますが、100km程度の走行で実際の燃費に近づきます。

OBDデータ



- ◆車速 (現在の車速です。)
- ◆エンジン回転数 (現在のエンジン回転数です。)
- ◆エンジン負荷率 (エンジンにかかる負荷をパーセントで表します。)
- ◆スロットル開度 (燃料と空気の流れを制御する弁の開き具合をパーセントで表します。)
- ◆冷却水温度 (ラジエーターで冷却後の冷却水の温度です。)

測位情報



GPS波を受信している衛星の位置、衛星ナンバー、受信レベルおよび車両の緯度・経度を表示します。
※ 衛星ナンバーとは、衛星に割り当てられたナンバーです。

3Dポリゴン 4色識別アラーム

ターゲットを注意度により4色に識別し、直感でわかりやすく表示！

赤 警報



ステルスなど「厳重注意」ターゲットを、3Dポリゴンでわかりやすく赤色警報！
ターゲット名はもちろん、ステルスやレーダー波は電波受信をレベル表示。

黄 警告



ネズミ捕りエリアなど「要注意」ターゲットを、3Dポリゴンでわかりやすく黄色警告！
ターゲット名とターゲットまでの距離をカウントダウン表示。

青 告知



車上狙い多発エリアなど「少し注意」ターゲットを、3Dポリゴンでわかりやすく青色告知！

緑 情報



サービスエリアなど安全運転のための情報を、3Dポリゴンでわかりやすく緑色でお知らせ！

実写警報「REALPHOTO(リアルフォト)」

注意度の高いオービスや取締エリアなどのGPSターゲットに近づくと、実写やイメージ写真でお知らせ！

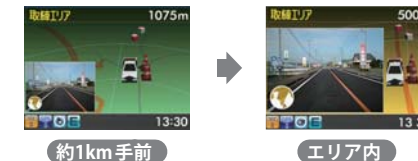
- 表示される実写は、撮影時のものです。現状とは異なる場合があります。

オービス実写例



オービスの約2km(高速道のみ)／1km手前では小さく、500m手前では大きく実写を表示します。
また、オービスの位置を、矢印でわかりやすく表示します。
写真データが登録されていないオービスポイントでは、オービス写真が表示されません。

取締エリア実写例



取締エリアの約1km手前では小さく、エリア内では大きく実写を表示します。

- 実写データがない取締エリアでは、イメージ写真で表示します。
- 一時停止取締エリアは、「エリア内」のみ表示します。

緯度・経度について

緯度・経度を表示させ、**itx.MAP**サービス(59ページ)をご活用いただけます。

表示方法

FUNCボタンを長押し(約1秒)する。



必ず、車を止めてから操作してください。

- 表示部にQRコードと緯度(N)・経度(E)を約1分間表示します。
- 表示中は、移動しても緯度・経度は変わりません。
- GPS非測位の場合は、緯度・経度は表示できません。
- 戻るときは、**FUNC**ボタンを押してください。
- 表示させたまま1分間経過すると、自動的に直前の画面に戻ります。

3Dゾーンマップレーダースコープについて (特許出願中)

はじめに

レーダースコープ上にターゲットを表示します。ターゲット圏内のゾーン(地域)に入ったターゲットをイメージマップ上でお知らせします。オービス、取締・検問エリアは実写とユニークな3Dポリゴンアニメーションで警報します。走行路線上にターゲットが存在するかが一目瞭然です。

レーダースコープ画面

GPSターゲットを探知すると・・・

これから何を警報するのかをアイコン表示などでお知らせします。



- 制限速度表示は、オービス(ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービス)と一部の取締エリア警報時に表示します。
- 表示される時刻・速度・距離は、GPSの受信状況により、ずれることがあります。
- 走行速度やGPSターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPSやGセンサー、VPSにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- GPS非測位時、走行速度は表示しません。
※別売品のOBD IIアダプターで接続した場合は、GPS非測位時でも走行速度は表示されます。
- カーナビゲーションシステムではありませんので、地図上に地名・道路・建物等の名称は表示しません。
- 画面に表示される地図のデータ更新はできません。

アイコン表示について

GPSターゲットのアイコン表示は、緊急度の高い順に「赤」→「黄」→「青」→「緑」の4色に識別して表示します。

色	ターゲット	アイコン表示
赤色	ループコイル	LC
	LHシステム	LH
	新Hシステム	H
	レーダー式オービス	RD
黄色	マイエリア	M
	マイキャンセルエリア	CAN
	ネズミ捕りエリア	🐭
	移動オービスエリア	🚌
	追尾式取締エリア	🚗
	一時停止取締エリア	STOP
	交差点取締エリア	🚦
	その他取締エリア	🚗
	シートベルト検問エリア	🚗
	飲酒検問エリア	🍷
	携帯電話検問エリア	📱
	その他検問エリア	🚗
	交差点監視ポイント	🚦
	信号無視抑止システム	🚦
	高速道 交通警察隊	🚓
	一時停止注意ポイント	🛑

色	ターゲット	アイコン表示
青色	Nシステム	N
	交通監視システム	🚦
	警察署	🚓
	事故多発エリア	!
	交番	🚓
	踏切	🚶
緑色	サービスエリア	SA
	パーキングエリア	PA
	ハイウェイオアシス	🚶
	高速道 長/連続トンネル	🚶
	ハイウェイラジオ受信エリア	📻
	道の駅	🚶
	ビューポイントパーキング	📷
	駐車場	P
	消防署	🚒
	公衆トイレ	WC

はじめに

エコドライブモニターについて (特許出願中)

はじめに

GPSの電波を受信、またはOBD II車速検知(別売品のOBD IIアダプターで接続した場合)から得られる速度データをもとに、急加速のポイント、急減速のポイント、アイドリングのポイント、経済速度のポイントの4項目から総合評価します。

エコドライブモニターは、待受画面を「エコドライブ」に設定(●41ページ)すると表示され、急加速や急減速と判断した場合、黄色や赤色に背景色が変化します。

環境や経済走行の目安としてご使用ください。



急加速	急加速と判断するとポイント(pt)を減点します。 (初期値：70pt)
急減速	急ブレーキなどによる急減速と判断するとポイント(pt)を減点します。(初期値：70pt)
アイドリング	エンジン始動後、停車している時間が長いとポイント(pt)を減点します。(初期値：70pt)
経済速度	時速60km前後での走行と判断するとポイント(pt)が加点され、高速、低速での走行と判断するとポイント(pt)を減点します。 (初期値：70pt) ※実際の交通規制に従って走行してください。
総合評価	「急加速」「急減速」「アイドリング」「経済速度」の各ポイント(pt)の平均を算出します。

- GPS測位できない場合は、各項目の採点は行いません。(別売品のOBD II アダプター(OBD12-RD)で接続した場合を除く。)
- 各項目のポイント(pt)表示は、上限100pt、下限0ptです。
「データ消去」(●44ページ)を行うとリセットされます。
(各項目のリセット値は70ptで、項目別リセットすることはできません。)
- 加速度計は、加速時や減速時に合わせて変化します。
- エコドライブモニターは、GPSの電波を受信して、またはOBD II車速検知(別売品のOBD II アダプター(OBD12-RD)で接続した場合)から得られる速度データをもとに評価するものです。目安としてお考えください。

バーチャルオドメーターについて (特許出願中) つづく

はじめに

実際の走行距離を日本地図上で海岸線を巡る仮想コースに当てはめ、日本一周旅行の擬似体験ができます。



目的地	現在向かっている県の県名です。
走行距離	現在までの走行距離です。
周回数	現在の周回数です。

スタート地点の設定



スタート地点	県
北海道	北海道
東北	宮城
関東	東京
信越	新潟
北陸	石川
東海	愛知

- 初めてバーチャルオドメーターを選択した場合は、スタート地点の設定をします。表示された中からスタート地点をVOL+VOL-ボタンで選択し、AREAボタンで決定してください。

スタート地点	県
近畿	大阪
中国	広島
四国	高知
九州	福岡
沖縄	沖縄



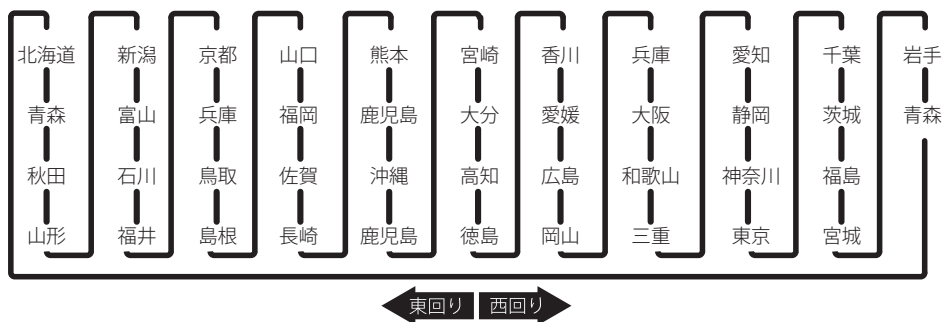
- 「東まわり」か「西まわり」かをVOL+VOL-ボタンで選択し、AREAボタンで決定すれば初期設定終了です。

- スタート地点の設定を終了させる前であれば、CANCELボタンで前の画面に戻ることができます。
- もう一度初期設定を行いたい場合は、「データ消去」(●44ページ)を参照してください。

バーチャルオドメーターについて(特許出願中)

はじめに

チェックポイント順番



バーチャルオドメーターのSTART~GOAL

- 1 スタート画面です。**
START画面が表示されます。
- 2 チェックポイント手前約5kmにさしかかると、距離のカウントダウンが始まります。**
残り3.2 km
青森県に近づいています
- 3 チェックポイントを越えると「ようこそ〇〇県へ」と表示されます。**
残り 0 km
ようこそ青森県へ
ピンポンパンポン
- 4 海岸線を日本一周分走行すると、GOAL画面が表示されます。**
GOAL!
ピンポンパンポン
13 12

- スタート地点の設定をして他の待受画面に切り替えた場合でも、走行に伴ってバーチャルオドメーターは動き続けます。他の待受画面からバーチャルオドメーターに変更すると、最後に通過した県境表示またはGOAL表示が表示されます。

レーダー波受信時の動作について(レーダーアラーム)

本機は、Wアラームと接近テンポアップの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。[レーダーアラーム]

Wアラーム

音(電子音/メロディ/ボイス)と表示のダブルで警報します。

後方受信

iDSPによる超高精度識別により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

オートクワイアット

レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に音量が小さくなります。

ミュート機能

取締りレーダー波の発信源の確認ができれば警報中にT/M MODEボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。

接近テンポアップ

取締りレーダー波発信源への接近(電波の強弱)に合わせて変化します。

取締りレーダー波発信源との距離	
電子音	断続音から連続音に変化します。
表示部	受信レベルが変化します。

- 電子音以外はテンポアップしません。

使いかた／レーダー編



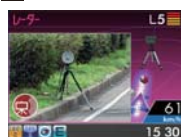
レーダー波3識別 (iDSP) について

本機は、iDSP/統合的デジタル信号処理技術 (integrated Digital Signal Processing Technology) により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して警報画面とボイスでお知らせします。さらに、アイキャンセル(47ページ)により取締り波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

1 ステルス波



2 通常レーダー波



3 キャンセル告知



- ・レーダースコープ画面におけるターゲット表示とレーダー波の発信元とは無関係です。
- ・新Hシステムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。
- ・キャンセル告知には、ボイスのお知らせはありません。

ボイス識別

ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

- ・ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ・通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。
- ・ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。

[ステルス識別]

[インテリジェントキャンセル：特許 第3902553号、第4163158号]

- ・iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。

<ステルス波を受信したとき>

受信

♪効果音のあとに『ステルスです』
『ステルスです』



『ステルスです』と警報したあとは、通常の警報音(メロディ、ボイス、電子音)の警報になります。



GPS測位機能について

GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。

カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル、LHシステムのオービス(無人式自動速度取締り装置)にも警報します。

また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして、過去に取締りや検問が行われていた場所など、52種類のターゲットを識別してお知らせします。[GPS52識別]

Gセンサー & VPS

GPS・Gセンサーで、自車の進行状態を検知して、ルートのはずれを補正します。GPS非測位時には、VPS(バーチャルポジショニングシステム)が行う進行距離計算にGセンサーからの加減速変化を加えることによって、より高精度な警告をすることができます。

GPS-EX

弱信号捕捉技術により、感度が大幅に向上した超高感度GPSモジュールを採用。今まで警報しなかった高架下などの弱信号環境でも途切れにくい動作を可能にし、警報できるようになりました。

OB2車速検知 *別売品(OB2アダプター)で接続時

GPS電波を受信できないトンネル内でも、正確な車速情報を得ることができます。

<Gセンサー & VPS>、別売品のOB2アダプターを接続することによる<OB2車速度検知>により、GPS電波の受信状態が良くない場所でも、高精度な警報を行うことが可能です。

GPS測位機能は、本機の電源をONにするとはたらきます。

測位アナウンスについて

- ・GPSの電波を受信(測位)すると、『測位しました』とお知らせします。約5分経過しても測位できないときは、『GPSをサーチ中です』とお知らせします。
- ・測位したあとでも、GPSの電波を受信できない状態が約1分以上続くと、『GPSを受信できません』と非測位のお知らせをします。非測位のお知らせをしたあとに、再び測位すると『GPSを受信しました』とお知らせします。
- ・ビルの谷間など、GPSの電波の受信状態が良くない場合、『GPSを受信できません』『GPSを受信しました』と測位アナウンスをくり返すことがあります。

通常、測位するまで、約15秒から約3分ほどかかりますが、購入直後や、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、GPSの電波を受信しにくく、測位に20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。



GPS52識別について

つづく

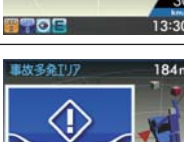
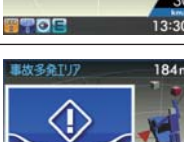
内蔵メモリーに登録されているGPSデータのポイントに近づく、オービスなどのターゲットを52種類に識別してお知らせします。

ターゲットと 警報音(ボイス)の例	警報画面例	ターゲットと 警報音(ボイス)の例	警報画面例
1 ループコイル 『1km先 高速道ループコイルです』		8 トンネル出口 ターゲット 『トンネルの出口付近 高速道レーダーです』	
2 LHシステム 『500m先 LHシステムです』		9 オービス制限速度 『1km先 高速道ループコイルです』 『制限速度は100キロです』	
3 新Hシステム 『500m先 Hシステムです』		10 高速道制限速度切替 りポイント 『高速道 制限速度は 50キロです』	
4 レーダー式オービス 『2km先 高速道レーダーです』		11 カメラ位置告知 『500m先 Hシステムです』 『カメラは正面です』	
5 トンネル内オービス 『トンネル内 高速道LHシステムです』		12 マイエリア 『1km先 マイエリアです』	
6 トンネル内追尾式 取締エリア 『トンネル内 高速道 レベル3 追尾式取締エ リアです』		13 ネズミ捕りエリア 『1km先 レベル4 レーダー式 ネズミ捕り エリアです』	
7 トンネル出口直後 ネズミ捕りエリア 『トンネル出ですぐ 高速 道 レベル3 ネズミ捕り エリアです』		14 移動オービスエリア 『レベル5 光電管式 移動オービスエリアです』 『スピード注意』	

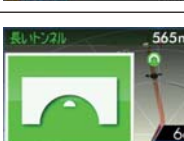
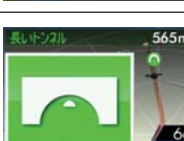
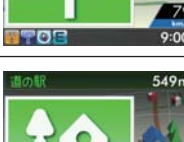
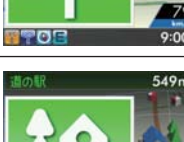
ターゲットと 警報音(ボイス)の例	警報画面例
15 追尾式取締エリア 『レベル3 バトカー 追尾式取締エリアです』 『スピード注意』	
16 一時停止取締エリア 『すぐ先 レベル2 一時停止取締エリアです』	
17 交差点取締エリア 『レベル1 交差点取締エリアです』	
18 その他取締エリア 『レベル1 取締エリアです』 『スピード注意』	
19 シートベルト検問エリア 『レベル5 シートベルト検問エ リアです』	
20 飲酒検問エリア 『レベル4 飲酒検問エリアです』	
21 携帯電話検問エリア 『レベル3 携帯検問エリアです』	

ターゲットと 警報音(ボイス)の例	警報画面例
22 その他検問エリア 『レベル2 検問エリアです』	
23 取締・検問圏外識別 『取締エリア外です』 『検問エリア外です』	
24 交差点監視ポイント 『すぐ先 交差点監視ポイントです』	
25 信号無視抑止システム 『すぐ先 信号無視抑 止システムです』	
26 高速道 交通警察隊 『500m先 高速道 交通警察隊待機所です』	
27 駐禁最重点エリア 『この付近 駐禁最重点 エリアです』	
28 駐禁重点エリア 『この付近 駐禁重点エ リアです』	



ターゲットと 警報音(ボイス)の例	警報画面例
29 一時停止注意ポイント ・サイレント警報※ (ボイスのお知らせはありません。) 	
30 Nシステム 『すぐ先 Nシステムです』 	
31 交通監視システム 『すぐ先 交通監視システムです』 	
32 警察署 『500m先 警察署です』 	
33 交番 ・サイレント警報※ (ボイスのお知らせはありません。) 	
34 事故多発エリア 『すぐ先 事故多発エリアです』 	
35 車上狙い多発エリア 『この付近 車上狙い多発エリアです』 	

ターゲットと 警報音(ボイス)の例	警報画面例
36 高速道 急/連続カーブ 『この先 高速道 急(連続)カーブです』 	
37 高速道 分岐/合流ポイント 『この先 高速道 分岐(合流)ポイントです』 	
38 踏切 ・サイレント警報※ (ボイスのお知らせはありません。) 	
39 ETCレーン事前案内 『ETCレーンは 右側(左側/両サイド/中央)です』 	
40 サービスエリア 『1km先 高速道 サービスエリアです』 	
41 パーキングエリア 『1km先 高速道 パーキングエリアです』 	
42 ハイウェイオアシス 『1km先 高速道 ハイウェイオアシスです』 	

ターゲットと 警報音(ボイス)の例	警報画面例
43 スマートIC 『1km先 高速道 サービスエリアです スマートインターチェンジです』 	
44 SA/PA内 ガスステーション 『1km先 高速道 パーキングエリアです ガスステーションがあります』 	
45 高速道 長/連続トンネル 『500m先 高速道 長い(連続)トンネルです』 	
46 ハイウェイラジオ受信エリア 『高速道 ハイウェイラジオ 受信エリアです』 	
47 県境告知 『この先 ○○県です』 	
48 道の駅 『500m先 道の駅です』 	
49 ビューポイントパーキング 『500m先 ビューポイントパーキングです』 	

ターゲットと 警報音(ボイス)の例	警報画面例
50 駐禁エリア付近駐車場 ・サイレント警報※ (ボイスのお知らせはありません。) 	
51 消防署 ・サイレント警報※ (ボイスのお知らせはありません。) 	
52 公衆トイレ ・サイレント警報※ (ボイスのお知らせはありません。) 	

- ・警報画面の表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。
 - ・警報音(ボイス)は、♪効果音のあとにお知らせします。
- ※注意度の低いターゲットを、アイコンのみで表示し、不要な警報音(ボイス)で運転の妨げをせず、重要な警告を逃しません。



◆トンネル内の警報・警告

本機は、GセンサーおよびVPSにより、GPSの電波を受信できないトンネル内のオービスや取締エリアをお知らせします。
さらに別売品のOBD IIアダプターで接続した場合は、OBD II 車速検知により高精度な警報を行います。

●トンネル内オービス3段階警報

トンネル内のオービスから約2km(高速道のみ)／1km／500m手前の最大3段階でお知らせします。

●トンネル内追尾式取締エリア警告

トンネル内の追尾式取締エリア登録ポイントから約1km手前とエリアに入ったときにお知らせします。

●トンネル出口直後ネズミ捕りエリア警告

トンネル出口直後のネズミ捕りエリア登録ポイントから約1km手前とエリアに入ったときにお知らせします。

●トンネル出口ターゲット警報

トンネルの出口付近に設置されているターゲット(オービスなど)に対し、トンネル入口の手前約500mと直前の2カ所(※)で警報します。

※ GPSの受信状況やGセンサー/VPSおよびOBD II 車速検知(別売品のOBD II アダプターで接続した場合)の動作状況、または地理的な状況によっては、1カ所のための警報になります。

●左右方向識別ボイス

GPS警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、その方向をお知らせします。

・『右方向』、『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

※以下のターゲットは、左右方向識別ボイスのお知らせはありません。

- ・トンネル内オービス
- ・トンネル出口ターゲット
- ・オービス制限速度
- ・高速道制限速度切替りポイント
- ・カメラ位置告知
- ・トンネル内追尾式取締エリア
- ・トンネル出口直後ネズミ捕りエリア
- ・一時停止取締エリア
- ・取締・検問圏外識別
- ・駐禁最重点エリア
- ・駐禁重点エリア
- ・一時停止注意ポイント
- ・交番
- ・車上狙い多発エリア
- ・高速道 分岐/合流ポイント
- ・踏切
- ・ETCレーン事前案内
- ・スマートインターチェンジ
- ・SA/PA内ガスステーション
- ・ハイウェイラジオ受信エリア
- ・県境告知
- ・駐車場
- ・消防署
- ・公衆トイレ

●高速道識別ボイス

ターゲットが高速道に設置されている場合、『高速道』とボイスでお知らせします。



移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、2回目以降通過時に警告させることができます。[マイエリア]

・登録数は、マイエリア、アイキャンセル(●47ページ)、マイキャンセルエリア(●36ページ)の合計で1,000カ所まで可能です。1,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

マイエリアを登録する

① 登録したい地点で **AREA** エリアボタンを押します。



② 再度、**AREA** エリアボタンを押します。

『マイエリアをセットしました』とお知らせします。

〈GPSを受信できず、マイエリア登録できなかったとき…〉

『GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、『GPSを受信できません』とお知らせします。

マイエリア登録したエリアに近づくとき…

手前約1km／500m／通過中の3段階で警告します。

〈手前約1km(500m)のとき…〉

『右(左)方向 1km(500m)先 マイエリアです』とお知らせします。

〈通過中…〉

『通過します』とお知らせします。

- ・GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知(『1km先』、『500m先』を『この先』や『300m先』／『200m先』／『100m先』／『すぐ先』)とお知らせすることがあります。

登録したマイエリアを解除する

① マイエリア登録されているエリアで、**AREA** エリアボタンを押します。



② 再度、**AREA** エリアボタンを押します。

『マイエリアを解除しました』とお知らせします。

・すべてのマイエリアを解除(消去)したい場合は、『データ消去』(●44ページ)を参照ください。



レーダー警報をキャンセルしたい地点を登録する(マイキャンセルエリア登録)

自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらずレーダー波の受信警報がよく鳴る地点を登録することができ、通過時にレーダー波の受信警報をキャンセルします。[マイキャンセルエリア]

- 登録数は、マイキャンセルエリア、マイエリア(●35ページ)、アイキャンセル(●47ページ)の合計で1,000カ所まで可能です。1,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。
- マイキャンセルエリアは、レーダー波の受信警報をキャンセルするもので、GPS52識別(●30ページ)や無線2バンド識別(●37ページ)・ベストパートナー2識別(●38ページ)の警報はキャンセルできません。

マイキャンセルエリアを登録する

- 登録したい地点で キャンセルボタンを押します。



- 再度、 キャンセルボタンを押します。

『マイキャンセルエリアにセットしました』とお知らせします。

〈GPSを受信できず、マイキャンセルエリア登録できなかったとき…〉

『GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、『GPSを受信できません』とお知らせします。

登録したマイキャンセルエリアに進入すると…

登録したキャンセルエリアのポイントから半径約200mのエリアに進入し、レーダー波を受信するとレーダー警報音をキャンセルします。

登録したマイキャンセルエリアを解除する

- マイキャンセルエリア登録されているエリアで、 キャンセルボタンを押します。



- 再度、 キャンセルボタンを押します。

『マイキャンセルエリアを解除しました』とお知らせします。

- すべてのマイキャンセルエリアを解除(消去)したい場合は、「データ消去」(●44ページ)を参照ください。

5
BAND

5バンド受信機能について

つづく

取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線2バンド受信をプラスし、5バンド受信ができます。

$$\text{GPS} + \frac{\text{Xバンド}}{\text{Kバンド}} + \text{無線2バンド} = \text{5 BAND}$$

1. 無線2バンド受信機能について

安心して、安全に運転していただくために、無線2バンド受信機能を搭載しました。これらの無線を受信すると、警報画面とボイスでお知らせします。[無線2バンド識別]

〈各種無線を受信すると…〉

受信バンドと 警報音 (ボイス)	警報画面	受信バンドと 警報音 (ボイス)	警報画面
① カーロケ無線 『カーロケ遠方受信です』 『カーロケ近接受信です』		② 取締無線 『取締無線です』	

- 警報画面の表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。
- 警報音(ボイス)は、♪効果音のあとにお知らせします。
- レーダースコープ画面におけるターゲット表示と無線受信の発信元とは無関係です。

2. ベストパートナー 2 識別

カーロケ無線、取締無線の受信状態からシミュレーションし、快適ドライブのベストパートナーとして、安全走行のためのタイムリーな情報をお知らせします。

また、カーロケ無線(407.7MHz帯の電波)を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。

・カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたります。

●「カーロケ取締無線」の設定(●58ページ)を「ON」にする

・「カーロケ取締無線」の設定をOFFにすると、ベストパートナー2識別は、はたしません。

種々の無線を受信すると・・・

識別項目	注意内容	警報画面	警報音(ボイス)
① カーロケ遠近識別	緊急車両などが遠方のときや近接している可能性が高いとき		『カーロケ遠方受信です』
② カーロケ圏内・圏外識別	カーロケ受信の発信元が、まだ近くにいる場合や遠ざかった可能性が高いとき		・ボイスのお知らせはありません。

- ・警報音(ボイス)は、♪効果音のあとにお知らせします。
- ・警報によるアドバイスがあっても、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。
- ・レーダースコープ画面におけるターゲット表示と無線受信の発信元とは無関係です。
- ・カーロケターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー2識別機能ははたしません。

各種設定のしかた

各種設定は、表示部を見ながら、本機前面のボタン操作で行います。



例 >>

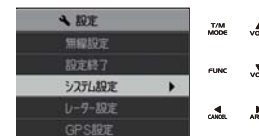
画面の明るさを変更するには・・・

1 「設定モード」にする

T/M MODE ボタンを押します。



●選択項目が反転表示されます。



2 「システム設定」の項目を決定する

T/M MODE ボタンを押します。

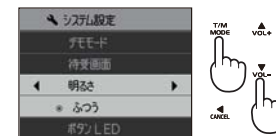


●「待受画面」の選択項目が反転表示されます。



3 「明るさ」の項目を選択する

VOL+ ボタンで「明るさ」を選択し、T/M MODE ボタンで決定します。



4 希望の明るさを選択し、決定する

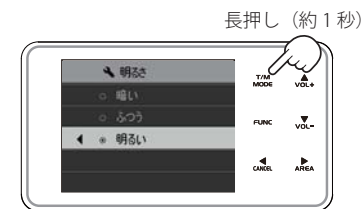
VOL+ または VOL- ボタンで希望の明るさを選択し、T/M MODE ボタンを押します。



●変更した項目に「●」が移ります。

5 「設定」モードを終了する

T/M MODE ボタンを長押し(約1秒)します。

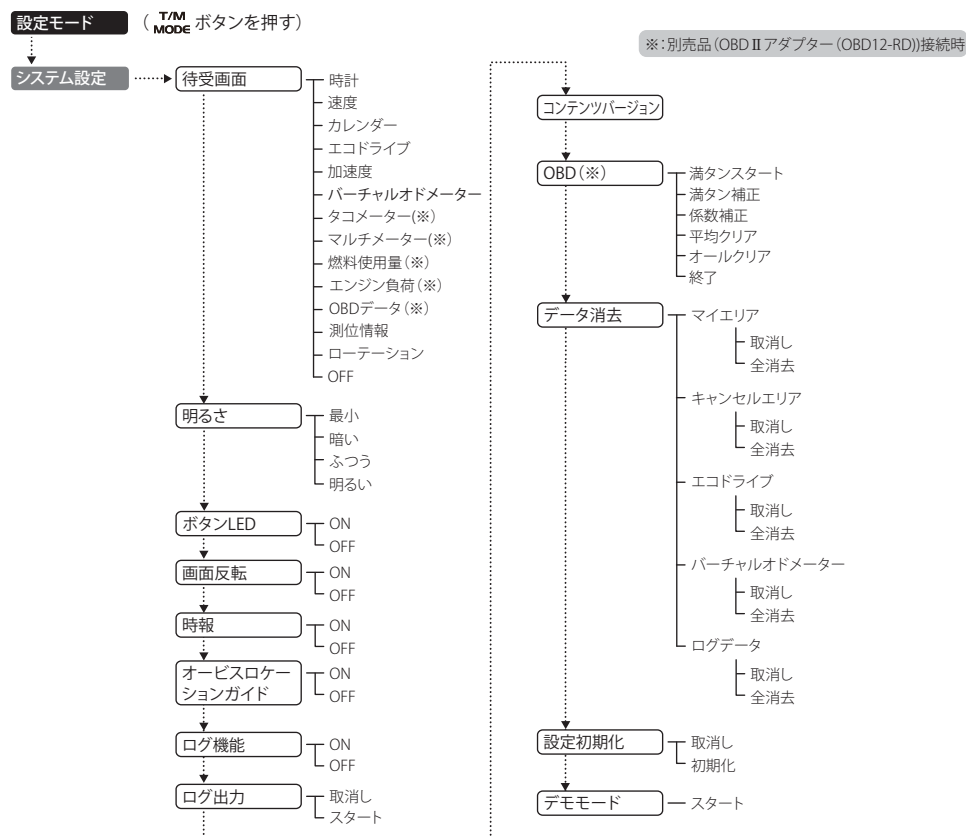


設定終了後、30秒以内に再度「設定モード」にすると、前回設定した項目が最初に表示されます。

設定メニューにそって、システム設定の各種設定変更ができます。

- ・詳しい操作方は「各種設定のしかた」(●39ページ)をご覧ください。

設定メニュー



設定項目の詳細説明

〈待受画面〉

警報待受時の画面表示を「時計」「速度」「カレンダー」「エコドライブ」「加速度」「バーチャルオドメーター」「測位情報」「ローテーション」「OFF」の中から選択することができます。

(別売品のOBD IIアダプターで接続した場合は、「タコメーター」「マルチメーター」「燃料使用量」「エンジン負荷」「OBDデータ」からも選択できます。)

各画面の詳細については、「待受画面」(●17ページ)を参照してください。

- ・日付および時刻は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- ・走行速度の表示は、GPS測位状況によって、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。
- ・測位情報は衛星数、衛星ナンバ、受信レベルを表示します。
- ・ローテーションは、「時計」「速度」「カレンダー」「エコドライブ」「加速度」「バーチャルオドメーター」「測位情報」が1分間隔で切替ります。(別売品のOBD IIアダプターで接続した場合は、「タコメーター」「マルチメーター」「燃料使用量」「エンジン負荷」「OBDデータ」もローテーションに加わります。)
- ・「OFF」に設定すると待受画面は表示されません。
- ・「OFF」に設定している状態でも、GPSターゲットやレーダー波などの各種警報(音や表示)は行われます。
- ・表示切替距離(●50ページ)の設定で、「レーダー画面固定」を選択すると、常にレーダースコープ画面を表示します。
- ・初期値は「時計」に設定されています。
- ・FUNCボタンを押すことで、簡単に待受画面を変更することも可能です。

〈明るさ〉

画面表示の明るさを「最小」「暗い」「ふつう」「明るい」の4段階で切替えることができます。

- ・初期値は「ふつう」に設定されています。

〈ボタンLED〉

本機前面パネルにあるボタン照明用LEDのON(点灯)/OFF(消灯)を切り替えることができます。

- ・初期値は「ON」に設定されています。

〈画面反転〉

「ON」に設定すると、画面表示の上下が反転します。

- ・初期値は「OFF」に設定されています。

〈時報〉

「ON」に設定すると、毎時、正時に時刻をお知らせします。

「午前(午後)〇〇時です」

- ・初期値は「ON」に設定されています。

〈オービスロケーションガイド〉

オービスの手前500mで目標物(交差点・バス停・陸橋・高速のキロポスト)と、オービスの種類などのアナウンスをより安全でわかりやすく行います。

- ・初期値は「ON」に設定されています。

〈ログ機能〉

「ON」に設定すると、約12時間分の走行データを記録することができます。(●60ページ)

- ・初期値は「OFF」に設定されています。

〈ログ出力〉

ログ機能で記録した走行データを同梱(レーダー探知機に装着済み)のmicroSDカードにコピーします。

- ・「スタート」を選択するとコピーを開始します。

〈コンテンツバージョン〉

搭載されているプログラムのバージョンと登録されているGPSデータ情報を表示します。

〈OBD〉

本機で燃費を計算する際に必要となる数値の設定および入力を行うことにより、平均燃費数値の精度を高めることができます。



〈満タンスタート手順〉

1. 燃料を満タンまで給油してください。
※給油完了時、給油口内で燃料油面の位置を確認してください。燃料タンクの構造上、給油後に油面が低下する場合がありますので、低下が止まった位置を確認してください。(油面の位置が不明の場合、満タン補正を行う際に補正精度に影響する場合があります。)
2. 「満タンスタート」を選択してください。画面が変わります。
3. 「OK」を選択してください。画面が元に戻ります。
4. 車両のトリップメーターをリセット(ゼロに戻す)し、次回給油までリセットしないでください。
5. 「満タン補正」が選択できるようになるまで無給油で200~300km程度走行してください。(走行距離が長いほど精度が高くなります。継続してこの画面を表示させておく必要はありません。)
6. 適当な間隔でこの画面を確認して「満タン補正」が選択できるようになったら、満タン補正を行います。



〈満タン補正手順〉

1. 前回の給油で確認した位置まで給油してください。(給油後の油面低下にご注意ください。)
2. 「満タン補正」を選択します。画面が変わります。
3. 本機前面のT/M MODE ボタンとVOL+VOL-AREA CANCEL ボタンを併用して、「距離」と「燃料」の数値を入力します。「距離」は車両のトリップメーターに表示されている数値を、また「燃料」は給油した燃料の量を入力してください。
4. 「補正前燃費」には今回給油前の平均燃費が、また「補正後燃費」には今回の給油による補正後の平均燃費が表示されます。
5. 「OK」を選択すると補正が完了し、画面が元に戻ります。



係数補正は、燃費計算を行う上での係数となります。この画面に表示される「距離係数」と「燃料係数」をメモしておくことにより、「オールクリア」をした後でもこれまでの燃費計算に戻すことができたり、またすでにこれらの係数が手元にある場合は直接入力を行うことによって、車両の燃費計算のベースとして設定することができます。

〈係数補正手順〉

1. 「係数補正」を選択します。画面が変わります。
 2. 本機前面のT/M MODE ボタンとVOL+VOL-AREA CANCEL ボタンを併用して、「距離係数」と「燃料係数」の数値を入力します。
 3. 「OK」を選択すると補正が完了し、画面が元に戻ります。
- ※「オールクリア」を行う前には、表示される係数をメモしておくことをおすすめします。



平均クリアは、画面内の「平均燃費」および「今回消費燃料」をクリアすることができます。(「今回消費燃料」は、電源のOFFでもクリアすることができます。)

「満タンスタート」および「満タン補正」の直後に行くと、これまでの平均燃費がクリアされることによって、新たに計算を開始させることができます。(平均クリアを行っても補正の内容はクリアされません。)



オールクリアは、OBD IIに関連する本機内の数値が初期値に戻ります。(車両側OBD IIに影響はありません。)
 オールクリアを行う前に、係数補正の画面で距離係数と燃料係数を確認し、メモしておくことをおすすめします。
 ※オールクリアを行い、初期値となった数値を元に戻すことはできませんので、ご注意ください。



終了は、OBD設定画面を終了させ、システム設定画面に戻ります。

〈データ消去〉

「マイエリア」「キャンセルエリア(アイキャンセル・マイキャンセルエリア)」「エコドライブ」「バーチャルオドメーター」「ログデータ」のデータを消去することができます。

- 消去したい項目(マイエリア、キャンセルエリア、エコドライブ、バーチャルオドメーター、ログデータ)を選び、「全消去」を選択・決定するとデータが消去されます。
- いったん消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。
- 本機に登録されているオービス等のGPSデータが消去されることはありません。

〈設定初期化〉

「初期化」を選択・決定すると、すべての設定項目をお買い上げ時の状態にリセットします。

- いったん初期化すると、元には戻せませんのでご注意ください。
- 本機に登録されているオービス等のGPSデータが消去されることはありません。

〈デモモード〉

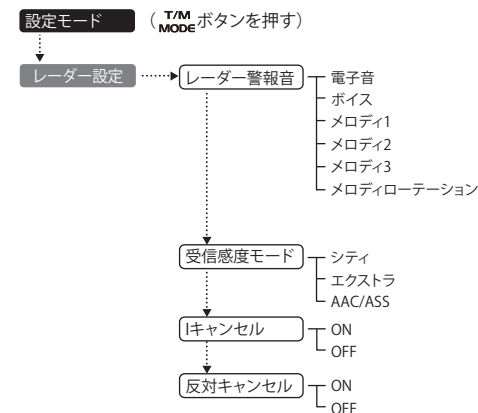
レーダー受信やGPS警報などの音声や画面表示を実演できます。

- スタートを選択するとデモモードが始まります。
- デモモード中に本機前面のボタンを操作するとデモモードは終了します。
- 本機がOBD IIアダプター(●10ページ)で接続されていない場合でも、OBD II関連の待受画面が表示されます。

設定メニューにそって、レーダーの各種設定変更ができます。

- 詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(●39ページ)をご覧ください。

設定メニュー



設定項目の詳細説明

〈レーダー警報音〉

レーダー波受信時の警報音を選択できます。

- ・初期値は「メロディ1」に設定されています。

選択項目	警報のしかた
電子音	『ピッピッピッ…』という電子音で警報します。
ボイス	♪効果音のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。
メロディ1	オリジナルメロディ パターン1(メロディ1)で警報します。
メロディ2	オリジナルメロディ パターン2(メロディ2)で警報します。
メロディ3	オリジナルメロディ パターン3(メロディ3)で警報します。
メロディローテーション	レーダー波を受信すると、3曲のメロディアラーム(メロディ1→メロディ2→メロディ3の順)で警報します。

〈受信感度モード〉

レーダー受信感度を選択できます。

- ・受信感度が高いほど遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じ他の電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。
- ・初期値は「AAC/ASS」に設定されています。

選択項目	アイコン表示
シティ エクストラ	
AAC/ASS	 (時速30km未満)  (車速により変化)

「シティ」・「エクストラ」

	受信感度	走行環境や条件
高い ↑	エクストラ	郊外や高速道路
低い	シティ	市街地

「AAC/ASS」

GPS測位機能(本機が別売品のOBD II アダプター(●10ページ)で接続されている場合は、OBD II 車速検知)により、AAC/不要警報カットやASS/最適感度選択がはたります。

● AAC/不要警報カット

走行速度が時速30km未満は、レーダー波の受信警報をカットします。停車中や低速走行中に自動ドアなどの電波を受信しても、誤警報することはありません。

● ASS/最適感度選択

走行速度に合わせて、最適な受信感度を自動的に選択します。

「AAC/ASSの動作」

走行速度	受信感度	アイコン表示	警報状態
0km～29km			警報しない
30km～39km	シティ		警報する
40km～	エクストラ		

- ・電源ON後、GPS測位するまでの間は、エクストラになります。
- ・走行中にGPS測位ができなくなると、常に「警報する」状態になり、時間経過でエクストラに変化します。(本機が別売品のOBD II アダプター(●10ページ)で接続されている場合を除く。)

〈アイ(1)キャンセル〉(インテリジェントキャンセル) [特許 第3902553号、第4163158号]

自動ドアなどで誤警報する場所を通過した際、GPSの位置情報を自動で登録し、2回目以降通過時に電波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。

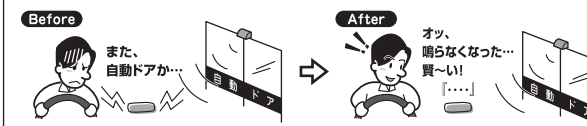
登録数は、アイキャンセル、マイエリア(●35ページ)、マイキャンセルエリア(●36ページ)の合計で1,000カ所まで可能です。

1,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

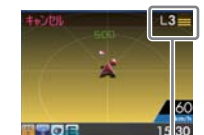
- ・初期値は「ON」に設定されています。

アイキャンセルのしくみ

- ① 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1回目]
- ② 取締りレーダー波かどうかを識別。
- ③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
- ④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2回目以降]



- ・キャンセル中の画面



レーダー波の
受信レベル

- ・GPS測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
- ・キャンセルされないエリアでは、マイキャンセルを合わせてご利用ください。
- ・「アイキャンセル」を「OFF」に設定すると、アイキャンセル機能を停止させることができます。
- ・自動登録したエリアは、「アイキャンセル」の設定や電源をOFFにしても記憶されています。
- ・登録されたエリアをすべて消去したい場合は、「データ消去」(●44ページ)をご覧ください。

〈反対キャンセル(反対車線オービスキャンセル機能)〉

GPSデータに登録されている新Hシステムとレーダー式オービスポイントの反対車線で、レーダー波の受信警報をキャンセルする機能です。

- 初期値は「ON」に設定されています。



反対車線オービスキャンセル中の画面

設定メニューにそって、GPSの各種設定変更ができます。

- 詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(➡39ページ)をご覧ください。

設定メニュー

設定モード (T/M ボタンを押す)

GPS設定

表示切替距離

- 待受画面固定
- 500m
- 1000m
- レーダー画面固定

オービス

- ON
- OFF

直前速度告知

- ON
- OFF

通過告知

- ON
- OFF

制限速度告知

- ON
- OFF

カメラ位置告知

- ON
- OFF

制限速度切替告知

- ON
- OFF

速度超過告知

- ON
- OFF

取締エリア

- OFF
- 全て
- レベル2以上
- レベル3以上
- レベル4以上
- レベル5のみ

検問エリア

- OFF
- 全て
- レベル2以上
- レベル3以上
- レベル4以上
- レベル5のみ

交差点監視ポイント

- ON
- OFF

信号無視抑止システム

- ON
- OFF

高速交通警察隊

- ON
- OFF

駐禁監視エリア

- ON
- OFF

一時停止注意ポイント

- ON
- OFF

Nシステム

- ON
- OFF

交通監視システム

- ON
- OFF

警察署

- ON
- OFF

交番

- ON
- OFF

事故多発エリア

- ON
- OFF

車上狙い多発エリア

- ON
- OFF

急カーブ

- ON
- OFF

分岐合流ポイント

- ON
- OFF

踏切

- ON
- OFF

ETCレーン

- ON
- OFF

サービスエリア

- ON
- OFF

パーキングエリア

- ON
- OFF

ハイウェイアシス

- ON
- OFF

スマートIC

- ON
- OFF

ガソリンスタンド

- ON
- OFF

トンネル

- ON
- OFF

ハイウェイラジオ

- ON
- OFF

県境

- ON
- OFF

道の駅

- ON
- OFF

ビューポイントパーキング

- ON
- OFF

駐車場

- ON
- OFF

消防署

- ON
- OFF

公衆トイレ

- ON
- OFF

設定項目の詳細説明

〈表示切替距離〉

待受画面からレーダースコープ画面に切替る距離を選択できます。

- 待受画面固定を選択した場合、待受画面のままレーダースコープ画面に切替りません。
- レーダー画面固定を選択した場合は、常にレーダースコープ画面を表示します。
- 初期値は「1000m」に設定されています。

〈オービス〉

オービス5段階警報のON/OFFができます。

オービス5段階警報とは？

オービス(ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式)に対する警報を手前約2km(高速道のみ)/1km/500m/通過直前(直前速度告知)/通過中(通過告知)の最大5段階で行います。

●警報音(ボイス)によるお知らせ(例)

- 手前約2km → 『2km先 高速道 LHシステムです』
- 手前約1km(500m) → 『1km(500m)先 高速道 LHシステムです』
- 通過直前(直前速度告知) → 『走行速度は60キロ以下です』
- 通過中(通過告知) → 『通過します』
- 約2km手前の警報(高速道のみ)は、走行路線の制限速度を超えて走行している場合にお知らせします。
- GPSの受信状況やGセンサー/VPSの動作状況により、距離の告知(『1km先』、『500m先』)を『この先』や『300m先/200m先/100m先/すぐ先』とお知らせすることがあります。
- 通過直前(直前速度告知)は、車の走行速度をお知らせするもので、道路の制限速度告知ではありません。
- トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスの警報は、オービス5段階警報とは異なります。(●34ページ)
- 初期値は「ON」に設定されています。

〈直前速度告知〉

「オービス直前速度告知」のON/OFFができます。

オービス直前の車の速度をボイスで告知します。『走行速度は〇〇です』

- 速度は『120キロ以上/120キロ以下/110キロ以下/100キロ以下/90キロ以下/80キロ以下/70キロ以下/60キロ以下/50キロ以下/40キロ以下/30キロ以下』のいずれかで告知します。
- 走行速度は、GPSの測位状況により実際の速度と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- トンネル出口ターゲットとトンネル内オービス(●34ページ)は、直前速度告知を行いません。
- 初期値は「OFF」に設定されています。

〈通過告知〉

「オービス通過告知」のON/OFFができます。

オービスの撮影ポイントやマイエリアの通過をお知らせします。『…通過します』

- GPSの受信状況やGセンサー/VPSの動作状況により、実際のオービスの直下ではなく、通過前や通過後に告知される場合があります。
- トンネル出口ターゲットとトンネル内オービス(●34ページ)は、通過告知を行いません。
- 初期値は「ON」に設定されています。

〈制限速度告知〉

約1km手前のオービス警報や取締エリア内の警報に続けて、道路の制限速度をお知らせします。

『…制限速度は〇〇です』『スピード注意』

- 制限速度は『30キロ/40キロ/50キロ/60キロ/70キロ/80キロ/90キロ/100キロ』のいずれかで告知します。
- 『スピード注意』のお知らせは、速度超過告知を「ON」に設定し、制限速度を超えて走行時のみ告知します。
- 普通自動車に対する制限速度をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。状況に応じた規制速度で走行してください。
- トンネル出口ターゲット(●34ページ)や制限速度が登録されていない取締エリアは、制限速度告知を行いません。
- 初期値は「OFF」に設定されています。

〈カメラ位置告知〉

約500m手前のオービス警報に続いて、オービスのカメラ位置をお知らせします。

『500m先・・・』『カメラは〇〇です』

- カメラ位置は「右側」「左側」「正面」のいずれかで告知します。
- トンネル出口ターゲット(●34ページ)は、カメラ位置告知を行いません。
- 初期値は「OFF」に設定されています。

〈制限速度切替告知〉

「高速道制限速度切替りポイント告知」のON/OFFができます。

高速道路における制限速度を高速道への進入ポイントやパーキングエリアなどの出口ポイント、高速道切替りポイントでお知らせします。

『高速道制限速度は〇〇です』

- 制限速度は『40キロ/50キロ/60キロ/70キロ/80キロ/90キロ/100キロ』のいずれかで告知します。
- 普通自動車に対する制限速度をお知らせします。事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。状況に応じた規制速度で走行してください。
- 初期値は「ON」に設定されています。

〈速度超過告知〉

制限速度告知、直前速度の告知、制限速度切替告知時に制限速度を超えて走行している場合、各告知に続けて『スピード注意』とお知らせします。

- 制限速度を10km/h以上超過している場合は『スピード注意』、制限速度を30km/h以上超過している場合は『速度超過です スピード注意』とお知らせします。
- 普通自動車の制限速度に対しての速度超過をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。状況に応じた規制速度で走行してください。
- 走行速度は、GPSの測位状況により実際の速度と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 初期値は「OFF」に設定されています。

〈取締エリア〉

「取締エリア警告」の設定ができます。

過去に取締りが行われていた場所が、6種類(ネズミ捕りエリア、移動オービスエリア、追尾式取締エリア、一時停止取締エリア、交差点取締エリア、その他取締エリア)に分けて登録されています。

取締りの頻度別(レベル2以上、レベル3以上、レベル4以上、レベル5のみ)に設定が可能です。

取締エリアの約1km手前とエリア内に入ったとき、エリア圏外になったときの最大3段階でお知らせします。

- トンネル内追尾式取締エリアとトンネル出口直後ネズミ捕りエリアは、「エリア圏外」のお知らせを行いません。
(➡34ページ)
- 一時停止取締エリアの警告は、「エリア内に入ったとき」のみお知らせします。
- 初期値は「全て」に設定されています。

●ボイスによるお知らせ(例)

- 約1km手前 →『1km先 レベル5 取締エリアです』
- エリア内に入ったとき →『レベル5 取締エリアです スピード注意 取締エリアです スピード注意』
- エリア圏外になったとき →『取締エリア外です』

●設定項目

OFF	警告を行いません。
全て	レベル1以上(全て)の警告を行います。
レベル2以上	レベル2～5の警告を行います。
レベル3以上	レベル3～5の警告を行います。
レベル4以上	レベル4～5の警告を行います。
レベル5のみ	レベル5のみ警告を行います。

●取締り頻度(レベル)

レベル1	取締りを行う頻度が少ない
レベル2	
レベル3	
レベル4	
レベル5	取締りを行う頻度が多い

- 取締エリアは、過去のデータに基づき登録されていますが、頻度などは目安としてお考えください。

〈検問エリア〉

「検問エリア警告」の設定ができます。

過去に検問が行われていた場所が、4種類(シートベルト検問エリア、飲酒検問エリア、携帯電話検問エリア、その他の検問エリア)に分けて登録されています。

検問の頻度別(レベル2以上、レベル3以上、レベル4以上、レベル5のみ)に設定可能です。

検問エリアの約1km手前とエリア内に入ったとき、エリア圏外になったときの3段階でお知らせします。

- 初期値は「全て」に設定されています。

●ボイスによるお知らせ(例)

- 約1km手前 →『1km先 レベル5 検問エリアです』
- エリア内に入ったとき →『レベル5 検問エリアです 検問エリアです』
- エリア圏外になったとき →『検問エリア外です』

●設定項目

OFF	警告を行いません。
全て	レベル1以上(全て)の警告を行います。
レベル2以上	レベル2～5の警告を行います。
レベル3以上	レベル3～5の警告を行います。
レベル4以上	レベル4～5の警告を行います。
レベル5のみ	レベル5のみ警告を行います。

●検問頻度(レベル)

レベル1	検問を行う頻度が少ない
レベル2	
レベル3	
レベル4	
レベル5	検問を行う頻度が多い

- 検問エリアは、過去のデータに基づき登録されていますが、頻度などは目安としてお考えください。

〈交差点監視ポイント〉

「交差点監視ポイント警告」のON/OFFができます。

過去に交差点で検問が行われたポイントが登録されていて、約300m手前になると、『(右/左方向) すぐ先 交差点監視ポイントです』とお知らせします。

- 初期値は「ON」に設定されています。

〈信号無視抑止システム〉

「信号無視抑止システム警告」のON/OFFができます。

信号無視抑止システムの約300m手前から通過直前に、『(右/左方向) すぐ先 信号無視抑止システムです』とお知らせします。

- 初期値は「ON」に設定されています。

〈高速交通警察隊〉

「高速道 交通警察隊告知」のON/OFFができます。

高速道 交通警察隊の約500m手前から通過直前に、『(右/左方向) 500m先 高速道 交通警察隊待機所です』とお知らせします。

- GPSの受信状況やGセンサー/VPSの動作状況により、距離の告知『500m先』を『300m先/200m先/100m先/すぐ先』とお知らせすることがあります。
- 初期値は「ON」に設定されています。

〈駐禁監視エリア〉

「駐車禁止監視エリア警告」のON/OFFができます。

本機に登録されている違法駐車取締り活動ガイドラインの最重点地域・重点地域内で停車すると、『この付近 駐禁最重点(重点)エリアです』とお知らせします。

- 駐車禁止監視エリアのアイコン(➡16ページ)は、駐禁最重点(重点)エリア内に進入した時点で表示されます。
- 初期値は「ON」に設定されています。

〈一時停止注意ポイント〉

「一時停止注意ポイント表示」のON/OFFができます。
登録されている一時停止注意ポイントをアイコン表示します。

- ※東京都23区内／名古屋市内／大阪市内の一時停止注意ポイントが登録されています。
- ・初期値は「OFF」に設定されています。

〈エヌ(N)システム〉

「Nシステム告知」のON/OFFができます。
Nシステムの約300m手前から通過直前に、『(右／左方向) すぐ先 (高速道)Nシステムです』とお知らせします。

- ・初期値は「ON」に設定されています。

Nシステムとは？

「自動車ナンバー読み取り装置」の略称で、その名のとおり走行中の自動車のナンバーを道路上に設置した赤外線カメラにより自動的に読み取り、そのデータを各都道府県の警察本部などに専用線を通して送信する装置で、自動車を利用した犯罪の捜査や盗難車両の検挙、発見などを効率的に行うことを目的に開発、導入されたものです。

〈交通監視システム〉

「交通監視システム告知」のON/OFFができます。
交通監視システムの約300m手前から通過直前に、『(右／左方向) すぐ先 交通監視システムです』とお知らせします。

- ・初期値は「ON」に設定されています。

交通監視システムとは？

交通監視システムとは「画像処理式交通流計測システム」などと言われているシステムで、道路上に設置したCCDカメラで撮影した画像を処理し、交通量、速度、車種などを計測するものです。
本システムは東京都港湾局の管轄で、計測した車速により『速度落とせ』や『速度オーバー』等を掲示板で警告しますが、スピード取締りの実績はありません。

〈警察署〉

「警察署告知」のON/OFFができます。
警察署の約500m手前から通過直前に、『(右／左方向) 500m先 警察署です』とお知らせします。

- ・GPSの受信状況やGセンサー/VPSの動作状況により、距離の告知『500m先』を『300m先／200m先／100m先／すぐ先』とお知らせすることがあります。
- ・初期値は「ON」に設定されています。

〈交番〉

「交番表示」のON/OFFができます。
登録されている交番ポイントをアイコン表示します。

- ・初期値は「OFF」に設定されています。

〈事故多発エリア〉

「事故多発エリア告知」のON/OFFができます。
過去に事故が多発したエリアが登録されていて、約300m手前になると、『(右／左方向) すぐ先 事故多発エリアです』とお知らせします。

- ・初期値は「ON」に設定されています。

〈車上狙い多発エリア〉

「車上狙い多発エリア告知」のON/OFFができます。
本機に登録されている車上狙い多発地域内で停車すると、『この付近 車上狙い多発エリアです』とお知らせします。

- ・車上狙い多発エリアのアイコン(●16ページ)は、車上狙い多発エリア内に進入した時点で表示されます。
- ・初期値は「ON」に設定されています。

〈急カーブ〉

「高速道 急カーブ/連続カーブ告知」のON/OFFができます。
高速道路の急カーブや連続するカーブにさしかかると、『(右／左方向) この先 高速道 急(連続)カーブです』とお知らせします。

- ・初期値は「OFF」に設定されています。

〈分岐合流ポイント〉

「高速道 分岐/合流ポイント告知」のON/OFFができます。
高速道路の分岐/合流ポイントにさしかかると、『この先 高速道 分岐(合流)ポイントです』とお知らせします。

- ・GPSの受信状況やGセンサー/VPSの動作状況により、インターチェンジ出口走行中に、本線の分岐を告知することがあります。
- ・初期値は「OFF」に設定されています。

〈踏切〉

「踏切表示」のON/OFFができます。
登録されている踏切ポイントをアイコン表示します。

- ・初期値は「OFF」に設定されています。

〈ETCレーン〉

「ETCレーン事前案内」のON/OFFができます。
ETCのある料金所にさしかかると、『ETCレーンは ○○です』とお知らせします。

- ・ETCレーンは、左側、右側、中央、両サイドのいずれかでお知らせします。
- ・初期値は「ON」に設定されています。

〈サービスエリア〉

「サービスエリア告知」のON/OFFができます。
サービスエリアの約1km手前で『(右／左方向) 1km先 高速道サービスエリアです』とお知らせします。

- ・初期値は「ON」に設定されています。

〈パーキングエリア〉

「パーキングエリア告知」のON/OFFができます。

パーキングエリアの約1km手前で『(右／左方向) 1km先 高速道パーキングエリアです』とお知らせします。

- ・初期値は「ON」に設定されています。

〈ハイウェイオアシス〉

「ハイウェイオアシス告知」のON/OFFができます。

ハイウェイオアシスの約1km手前で『(右／左方向) 1km先 高速道ハイウェイオアシスです』とお知らせします。

- ・初期値は「ON」に設定されています。

〈スマートIC(スマートインターチェンジ)〉

「スマートIC告知」のON/OFFができます。

サービスエリア、パーキングエリア、ハイウェイオアシス内にあるスマートインターチェンジをお知らせします。

パーキングエリア、サービスエリア、ハイウェイオアシスの告知後、スマートインターチェンジがある場合は、『1km先 高速道 …スマートインターチェンジです』とお知らせします。

- ・サービスエリア、パーキングエリア、ハイウェイオアシスの設定がOFFの場合は、スマートIC告知を行いません。
- ・初期値は「ON」に設定されています。

〈ガソリンスタンド〉

「サービスエリア/パーキングエリア内 ガスステーション告知」のON/OFFができます。

パーキングエリアやサービスエリアの告知後、ガスステーションがある場合は、『1km先 高速道 …ガスステーションがあります』とお知らせします。

- ・ガスステーションのブランド名が登録されている場合は、ガスステーションのブランド名を告知します。
『ガスステーションは〇〇です』
- ・サービスエリアとパーキングエリアの設定がOFFの場合は、ガスステーション告知を行いません。
- ・初期値は「ON」に設定されています。

〈トンネル〉

「高速道 長い/連続トンネル告知」のON/OFFができます。

高速道路の長いトンネルや連続するトンネルの約1km(500m)手前で、『(右／左方向) 1km(500m)先 高速道 長い(連続)トンネルです』とお知らせします。

- ・初期値は「OFF」に設定されています。

〈ハイウェイラジオ〉

「ハイウェイラジオ受信エリア告知」のON/OFFができます。

ハイウェイラジオ受信エリアにさしかかると、『高速道ハイウェイラジオ受信エリアです』とお知らせします。

- ・初期値は「OFF」に設定されています。

〈県境〉

「県境告知」のON/OFFができます。

高速道路と主要一般道路の県境にさしかかると、『この先 〇〇県です』とお知らせします。

- ・すべての道路の県境が登録されている訳ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・初期値は「OFF」に設定されています。

〈道の駅〉

「道の駅告知」のON/OFFができます。

道の駅の約1km(500m)手前で、『(右／左方向) 1km(500m)先 道の駅です』とお知らせします。

- ・初期値は「OFF」に設定されています。

〈ビューポイントパーキング〉

「ビューポイントパーキング告知」のON/OFFができます。

ビューポイントパーキングの約1km(500m)手前で、『(右／左方向) 1km(500m)先 ビューポイントパーキングです』とお知らせします。

- ・初期値は「OFF」に設定されています。

〈駐車場〉

「駐禁エリア付近駐車場表示」のON/OFFができます。

駐禁エリア付近に登録されている駐車場ポイントをアイコン表示します。

- ・初期値は「OFF」に設定されています。

〈消防署〉

「消防署表示」のON/OFFができます。

登録されている消防署のポイントをアイコン表示します。

- ・初期値は「OFF」に設定されています。

〈公衆トイレ〉

「公衆トイレ表示」のON/OFFができます。

登録されている公衆トイレのポイントをアイコン表示します。

- ・初期値は「OFF」に設定されています。

設定メニューにそって、無線の各種設定変更ができます。

- ・ 詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(●39ページ)をご覧ください。

設定メニュー



設定項目の詳細説明

〈カーロケ取締無線〉

この設定をONにすると、カーロケ無線や取締無線を受信した際、警報画面とボイスでお知らせします。

カーロケ無線とは？

「無線自動車動態表示システム」のことで、通信指令本部が移動局(パトカー等)の現在位置をリアルタイムで地図画面上に表示し、把握するシステムです。

カーロケシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、407.7MHz帯の周波数でデータ伝送していますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。

- ・ カーロケシステム搭載車であっても、使用されていない場合がありますので、カーロケ無線を受信できないことがあります。
- ・ カーロケシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信できる地域であっても、新システムへの移行により、受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域では、カーロケ無線の警報ができません。
- ・ 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と受信のお知らせがズレる場合があります。
- ・ 初期値は「ON」に設定されています。

取締無線とは？

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場での連絡に用いられることがある350.1MHzの無線です。

- ・ 取締り現場での連絡方法には350.1MHzの電波を用いた無線のほかに、有線方式などもあり、受信自体ができない場合もあります。

今すぐ地図表示サービス (無料)

レーダー探知機に表示させたQRコードをバーコードリーダー機能付携帯電話で読み取ると、携帯電話に周辺の地図や観光・レジャー・グルメ・ホテル・温泉などのエンターテインメント情報や季節情報を表示します。

また、周辺の駐車場も一覧表示。「e燃費」「ぐるなび」にもリンク！

- ・ 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- ・ バーコードリーダー機能付携帯電話で、インターネットを利用できる環境であることが条件となります。
- ・ 一部の携帯電話では、QRコードの読み取りや地図データを表示できない場合があります。

●今すぐ地図表示サービスの流れ

- ① レーダー探知機のFUNCボタンを長押し(約1秒)してQRコードを表示させる。
- ② バーコードリーダー機能付携帯電話でQRコードを読み取り送信する。
- ③ 携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。

地図閲覧サービス (無料)

携帯電話やパソコンで専用サイトにアクセスし、緯度・経度や郵便番号、住所を入力すると、周辺の地図や観光・レジャー・グルメ・ホテル・温泉などのエンターテインメント情報を表示します。また、周辺の駐車場も一覧表示。「e燃費」「ぐるなび」にもリンク！

- ・ 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- ・ インターネットが利用できるパソコンが条件となります。
- ・ 一部の携帯電話では、地図データを表示できない場合があります。

●地図閲覧サービスの流れ

- ① 携帯電話専用サイトにアクセスする。
<http://www.yupiteru-itymap.com/>
- ② レーダー探知機のFUNCボタンを長押し(約1秒)して緯度(N)・経度(E)を表示させる。
- ③ 携帯電話に緯度(N)・経度(E)を入力する。
- ④ 携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。

●PC専用サイト
<http://www.yupiteru-itymap.com/pc/>

詳しくは、弊社ホームページ「ity. MAPサービス」(<http://www.yupiteru.co.jp/map/itymap.html>)をご覧ください。

※ 今すぐ地図表示サービス、地図閲覧サービスで使用している地図の著作権は、株式会社昭文社に帰属されます。地図データの編集・加工による二次使用は、禁じております。

ログ機能 [特許出願中]

ログ機能をONに設定すると、走行データ(最大約12時間分)をレーダー探知機に記録します。記録したデータは、同梱(レーダー探知機に装着済み)のmicroSDカードにコピーし、パソコンで走行軌跡を確認することができます。

パソコンで走行軌跡を確認するには以下の環境や条件が必要になります。

※下記以外のパソコン環境や地図ソフト、市販のデータロガーでの動作確認は行っておりません。

※走行軌跡はパソコン上の地図や地形とずれることがあります。

● 下記の条件を満たしたインターネットに接続可能なパソコン。

- OS
 - Microsoft Windows 7 (32bit版/64bit版)
 - Microsoft Windows Vista (32bit版/64bit版)
 - Microsoft Windows XP (32bit版) ※
 - Microsoft Windows 2000
 - ※64bit版は、未対応となります。
- .NET Framework2.0以上がインストールされていること。 .NET Framework2.0以上がインストールされていない場合は、Microsoft社のホームページよりダウンロードしてください。

● ご用意いただくもの。

- 市販のSDカードまたはmicroSDカードリーダーライター(1GB対応のもの)
- SDカードリーダーライターやパソコンのSDカードスロットを使用する場合は、SDカード変換アダプターが必要となります。
- GoogleよりGoogle Earthをダウンロードしてください。
- 弊社ホームページ(<http://www.yupiteru.co.jp>)をご参照の上、オリジナルログデータ変換ソフト(YP_LogDataConvert.exe)をダウンロードしてください。

1. ログ機能をONにする

ログ機能をONに設定すると走行データが記録されます。

- 非測位時、時速10km未満の場合は記録されません。
- 走行データは、待受画面のアイコン表示部にパーセント表示されます。



- 記録容量が100%になった場合は、自動的にログ機能をOFFにし、100%の表示を残します。
- 記録容量が100%になっている場合は、ログ機能をONにすることはできません。
- ログ機能ON中は常に走行データを記録します。日時別の保存や管理は行っておりません。
- 記録容量が100%になり、ログ機能がOFFになっても、データ消去(●44ページ)を行うまで、100%の表示は残ります。
- 走行記録を消去する場合は、データ消去(●44ページ)を行ってください。また必要に応じ、事前に下記の手順でmicroSDカードにコピーを行ってください。

2. 走行データをmicroSDカードにコピーする

レーダー探知機の表示部を見ながら本機前面のボタン操作を行ってください。

- T/M MODE ボタンを押し、「設定モード」にする。
- 「システム設定」の項目を ボタンで選択し、T/M MODE ボタンを押す。
- 「ログ出力」の項目を ボタンで選択し、T/M MODE ボタンを押す。
- 「スタート」の項目を ボタンで選択し、T/M MODE ボタンを押す。

<コピー中の画面>



- microSDカードへコピーを行ったあとも、走行データを記憶しています。走行データを消去する場合は、設定メニューより、ログデータの消去(全消去)を行ってください。(●44ページ)

3. パソコンで走行軌跡を確認する

- 走行データをコピーしたmicroSDカードをパソコンに接続する。
- YP_LogDataConvert.exe(ユピテル ログデータコンバート)を起動する。
パソコン画面上の「開く」ボタンをクリックし、microSDカードの走行データ(*.Log)を選択する。

③「変換」ボタンをクリックし、お好みのファイル名と保存先を指定し、保存する。

④ 保存したファイルを開くと、Google Earthの画面上に走行軌跡が表示されます。

※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形と必ずしも一致しません。ずれて表示されることがありますのでご了承ください。

● 走行軌跡の確認後は、microSDカードをレーダー探知機に装着してご使用ください。(●13ページ)

● 必要に応じ、microSDカード内にコピーした走行データ(*.Log)を削除する場合は、GPS更新データ(pictureのフォルダ等)を削除しないようにご注意ください。

GPSターゲットデータ更新サービス

パソコンでのダウンロード、microSD カードをお送りするお届けプラン、本体お預かり更新サービスで本機のGPS ターゲットデータの更新を行っていただけます。
※地図データの更新はできません。

各種更新サービスについての詳細は下記ホームページを参照ください。

<http://www.yupiteru.co.jp/gps/index.html>

パソコンでのダウンロード、microSD カードをお送りするお届けプランをご利用の際には、ity.クラブにご入会ください。入会手続きは下記ホームページから行っていただけます。

◆ity.クラブホームページアドレス

<http://www.yupiteru.co.jp/ityclub/index.html>

電話でのお問い合わせは下記フリーコールにお願いします。

◆ユピテルity.クラブ窓口

受付時間 9:00 ~ 17:00 月曜日 ~ 金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

0120-998-036

本機お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご依頼ください。(●67ページ)

取締りのミニ知識

取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1. レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)

取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。

- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。



2. 距離と時間で算出する方法(光電管・ループコイル式オービス)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

- この方式は取締りレーダー波を発射しておりません。GPSターゲットとして登録されている場合のみ、警報することができます。

3. 追走して測定する方法(追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

- 追尾方式等で取締りレーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、探知することができません。

取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。

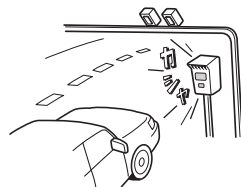
取締りレーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



自動速度取締り機

(新Hシステム、レーダー式オービス)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



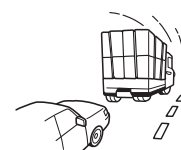
移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。
- 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



〔前に走行中の車がある場合〕



〔下り坂〕



〔コーナー〕

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社で相談窓口にご相談ください。

症 状	チェック項目
電源が入らない	- 電源スイッチがONになっていますか。(●8ページ) - シガープラグコードがはずれていませんか。 - シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良を起こしていませんか。2、3回左右にひねりながらシガーライターソケットに差し込み直してください。 - シガープラグコード内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
エンジンを止めて、イグニッションをOFFにしても電源が切れない	- シガーライターソケットの電源が、イグニッションのON/OFFと連動して入/切しない車があります。このような車では、エンジンを止めても、シガーライターソケットに電源が供給されますので、本機の電源スイッチで電源を切ってください。 - シガーライターソケットの電源が、イグニッションのON/OFFと連動して入/切される車でも、OBD II アダプター取り付け時はイグニッションのOFFから本機の電源が切れるまでに数秒から数十秒かかります。本機の電源をすぐに切りたい場合は、本機の電源スイッチで電源を切ってください。
実写警報、ロードイメージ、音声警告が出ない	同梱のmicroSDカードを装着していますか。または、抜けかけていませんか。(●13ページ)
レーダー警報しない	- 電源が入っていましたか。(●14ページ) - 警報機能が正しくはたらかめますか。ボタンを押して確認してください。(●15ページ) - 取締りレーダー波が発射されていませんか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。 - マイキャンセル登録したエリアではありませんでしたか。(●36ページ) - アイキャンセルされていませんか。(●47ページ) - 受信感度モードが「AAC/ASS」の場合、時速30km未満のときは警報しません。(●46ページ) 「マナーモード」になっていませんか。アップボタンを押して解除してください。
GPS 警報しない	- GPS 測位していましたか。(●29ページ) - 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。

症 状	チェック項目
取締りもしていないのに警報機能がはたらく	- 取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。 ——取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器—— - 電波式の自動ドア、防犯センサー／信号機の近くに設置されている車両通過計測機／NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部／気象用レーダー、航空レーダーの一部／他のレーダー探知機の一部 - まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。
警報の途中で警報音が小さくなる	レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。(オートクワイアット)
ひんぱんに無線警報する	放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。
取締り現場なのに350.1MHzを受信しない	「カーロケ取締無線」を「ON」に設定していましたか。(●58ページ) - 取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。連絡には350.1MHzの電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。
誤警報がキャンセルされない	「アイキャンセル」(インテリジェントキャンセル)の設定は「ON」になっていましたか。(●47ページ) - GPS測位していましたか。(●29ページ) - 新Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。 - 取締エリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。
何も表示しない	「マナーモード」になっていませんか。アップボタンを押して解除してください。 「待受画面」の設定が「OFF」ではありませんか。ボタンを押して待受画面を変更してください。
画面に%(パーセント)表示される	ログ機能をONにすると、走行データの記録状態をパーセント表示(0%～100%)します。(●16ページ)、(●60ページ)
速度表示が車両の速度計と異なる	車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
OBD II 接続時に、表示される待受画面の項目の一部が、表示されない	車種によって、待受画面の一部の項目が表示されない場合があります。(車種別の適応については、販売店または弊社ホームページでご確認ください。)

故障かな？と思ったら

症 状	チェック項目
OBD II 接続時に、スロットル開度が、アイドリング中でも0%にならない	・車種によって、「スロットル開度」はエンジンがアイドリング状態でも表示が0%にならないことがあります。
OBD II 接続時に、待受画面の項目の内容が、車両のメーターと異なる	・車種によって、表示する内容は純正メーターの数値やタイミングと異なる場合があります。
OBD II 接続時に、突然本機の電源がOFFになった	・OBD II 接続時、OBD II アダプターにあるディップスイッチの設定が間違っていると、突然電源がOFFになります。ディップスイッチの設定については、OBD II アダプターの取扱説明書をお読みください。

仕様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電源電圧	：DC 12V（マイナスアース車専用）	動作温度範囲	：－20℃～＋85℃
消費電流	：待機時：120mA以下（無線OFF時） 最大：180mA以下		（GPS部：－20℃～＋80℃） （UHF/VHF部：－10℃～＋60℃）
受信方式	：[GPS部] 16チャンネル//パラレル受信方式 [レーダー部] スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式	外形寸法	：[本機] 92(W)×50(H)×17(D)mm （突起部含まず）
表示部	：フルカラー液晶ディスプレイ	重量	：[本機] 72g（microSDカード含む）
受信周波数	：[GPS部] 1.6GHz帯 [レーダー部] Xバンド/Kバンド [UHF部] 336～470MHz帯 [VHF部] 154～163MHz帯		

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTMや®などの記号を記載しない場合があります。

アフターサービスについて

●保証書（裏表紙参照）

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分

機器本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

※ 点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

ユビテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による同梱品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9：00～17：00 月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター



0120-998-036